Excim-Lock

ES4D

baby lock

2本針4本糸ロックミシン

ご使用のてびき

このたびはエクシムロックをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

- ご使用前に、この「ご使用のてびき」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- 保証書はお買い求めの販売店から必ずお受け取りのうえ、この「ご使用のてびき」とともに大切に保管ください。

安全にご使用いただくために

ご使用していただくに当たっては、安全のために下記のことをお守りください。
このミシンは、日本国内向け・家庭用です。　　FOR USE IN JAPAN ONLY

⚠ 警 告　感電、火災の恐れがあります。

1. 一般家庭用交流電源100Vでご利用ください。
2. 下記のようなときは電源スイッチを切り、室内のコンセントから電源プラグを抜いてください。
   - ミシンのそばを離れるとき。
   - ミシンをご使用になったあと。
   - ミシンのご使用中に停電したとき。

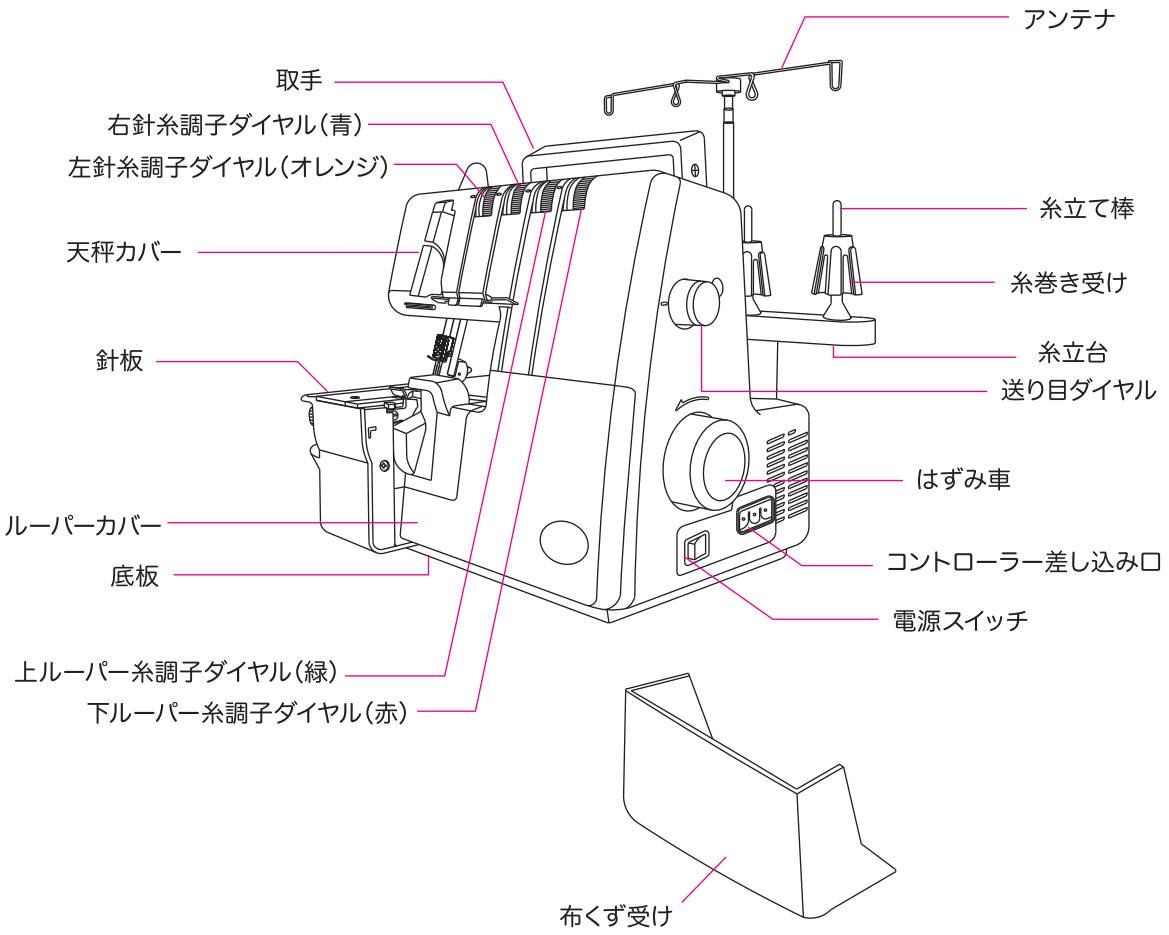
⚠ 注 意　感電、火災、ケガの原因となります。

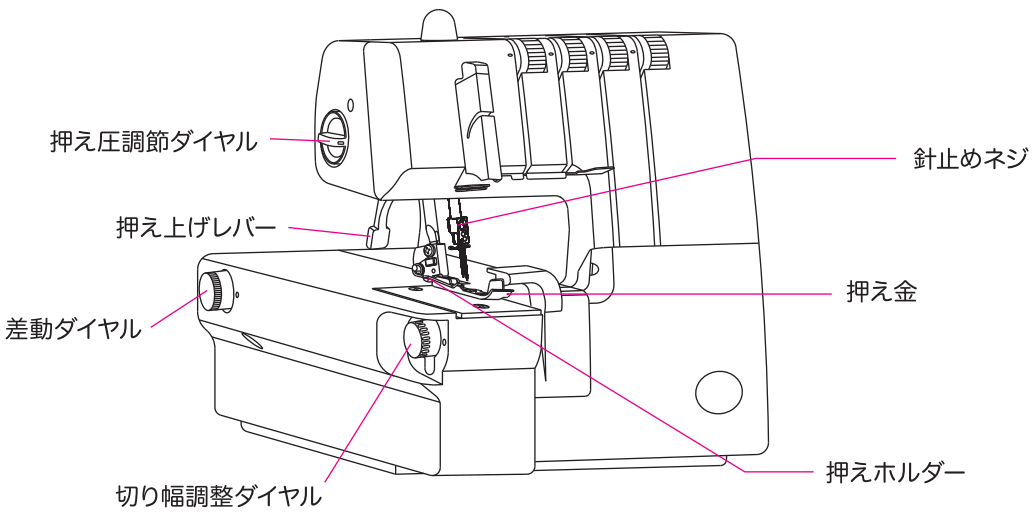
1. コントローラーや電源コードの上に物を乗せないでください。
2. お客様自身での分解、改造はしないでください。
3. ミシンを操作するときは、ルーパーカバー、布台カバーなどカバー類を閉じてください。
4. 縫製中は針から目を離さないようにし、針、メス、ルーパー、はずみ車、天びんなど、すべての動いている部分に手、髪の毛を近づけないでください。
5. 針折れの原因になるような曲がった針や先のつぶれた針はご使用にならないでください。
6. 針折れの原因になりますので、縫製中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。
7. お子様がミシンをご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全にご注意ください。
8. ミシンおよびコントローラーに水や薬品などがかからないようにしてください。
   ミシン内部に異物を入れないでください。
   また糸くずやホコリがたまらないように定期的に掃除してください。
9. ミシン本体の換気穴をふさがないでください。
10. 下記のことを行うときは、電源スイッチを切ってください。
    - 針、押え、メスなどを交換するとき。
    - 針糸、ルーパー糸の糸通しをするとき。
    - ランプを交換するとき。
      （ランプが冷えてから行ってください。別売のランプも同様です。）
    - ご使用のてびきに記載のあるミシンのお手入れ、注油を行うとき。
11. 落下しやすい場所でのミシンのご使用、保管はしないでください。
12. ミシンやコントローラーに下記の異常があるときはすみやかに使用を停止し、最寄りの販売店にて点検、修理、調整をお受けください。
    - 正常に作動しないとき。
    - 落下などにより破損したとき。
    - 水に濡れたとき。
    - 電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき。
    - 異常な臭い、音がするとき。
13. ミシンには正規の部品をご使用ください。
14. 長時間直射日光の当たる場所やスプレー製品や酸素、引火性の高い薬品を扱っている場所で使用しないでください。
15. 電源プラグをコンセントから抜くときは電源スイッチを切り、コードを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。

目次

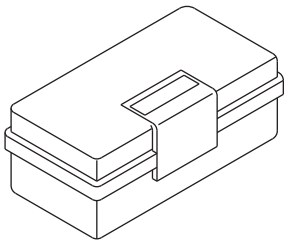
1 各部の名称 ---------- 3
2 アクセサリー ---------- 4
3 針の仕様 ---------- 4
4 ルーパーカバーを開ける ---------- 5
5 ルーパーカバー内の各部名称 ---------- 5
6 ミシンで縫う前の下準備 ---------- 6
7 布くず受けの取り付けと取りはずし -------- 6
8 糸の準備 ---------- 7
＊アンテナの取り付け ---------- 7
＊ネット ---------- 7
＊糸コマキャップ ---------- 7
9 布を切らずに縫うには ---------- 8
10 普通ロックと巻きロックの切換え ---------- 8
＊普通ロック ---------- 8
＊巻きロック ---------- 8
11 針の取り付けとはずし方 ---------- 9
＊針の位置 ---------- 9
＊針のはずし方 ---------- 9
＊針の取り付け ---------- 9
12 糸の通し方 ---------- 10
＊糸通し位置 ---------- 10
＊上ルーパーの糸通し（緑） ---------- 11
＊下ルーパーの糸通し（赤） ---------- 13
＊右針の糸通し（青） ---------- 15
＊左針の糸通し（オレンジ） ---------- 17
13 糸をかえる／結んで交換する ---------- 19
14 縫い目の幅を調整するには ---------- 20
＊針の位置変更で調整 ---------- 20
＊切り幅調整ダイヤルを使う ---------- 20
15 送り目の調節 ---------- 21
16 押え金の圧力を調整する ---------- 21
17 差動ダイヤルを使う ---------- 22
＊縮み縫い ---------- 22
＊伸ばし縫い ---------- 22
18 空縫いと試し縫い ---------- 23
19 各種縫い目の選択 ---------- 24
20 糸調整一覧表 ---------- 25
21 設定と縫い方 ---------- 26
＊3本糸オーバーロック ---------- 26
＊4本糸オーバーロック ---------- 27
22 巻きロックを縫うには ---------- 28
＊3本糸標準巻きロック ---------- 29
＊3本糸変形巻きロック ---------- 29
＊巻きロックについての補足説明 ------- 30
＊巻きロックの縫い終わりの処理 ------- 30
23 縫いテクニック ---------- 31
＊裾引き縫い ---------- 31
＊ピンタックを縫うには ---------- 31
＊アウトサイドコーナーを縫う ---------- 32
＊インサイドコーナーを縫う ---------- 32
＊縫い終わりの糸の始末 ---------- 33
24 ミシンのメンテナンス ---------- 34
＊ミシンの掃除 ---------- 34
＊ミシンに油を注ぐ ---------- 34
＊上メスの取り替え ---------- 34
＊電球を取り替えるには ---------- 35
25 アクセサリー（オプション） ---------- 36
＊スナップ式の押え金 ---------- 36
＊押え金の種類（オプション） ---------- 36
・ゴム入れ押え ---------- 36
・裾引き押え ---------- 36
・シャーリング押え ---------- 36
・ビーズ押え ---------- 36
・パイピング押え ---------- 36
・テープ押え ---------- 36
26 修理を依頼される前に ---------- 37
27 布・糸・針一覧表 ---------- 38

1 各部の名称

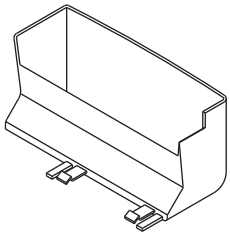

アンテナ
取手
右針糸調子ダイヤル(青)
左針糸調子ダイヤル(オレンジ)
天秤カバー
針板
ルーパーカバー
底板
上ルーパー糸調子ダイヤル(緑)
下ルーパー糸調子ダイヤル(赤)
糸立て棒
糸巻き受け
糸立台
送り目ダイヤル
はずみ車
コントローラー差し込み口
電源スイッチ
布くず受け


押え圧調節ダイヤル
押え上げレバー
差動ダイヤル
切り幅調整ダイヤル
針止めネジ
押え金
押えホルダー

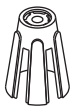
2 アクセサリー



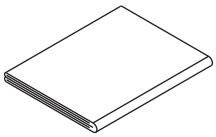
アクセサリーボックス



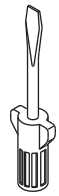
布くず受け



糸巻き受け



ビニールカバー



ドライバー

上メス

ネット

ミシン油

糸コマキャップ

ピンセット

六角ドライバー

ブラシ

針セット

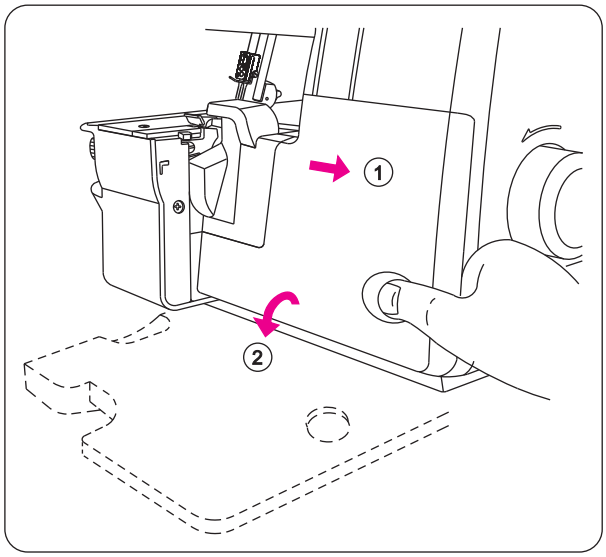
3 針の仕様

このミシンはEL×705の針を使用します。

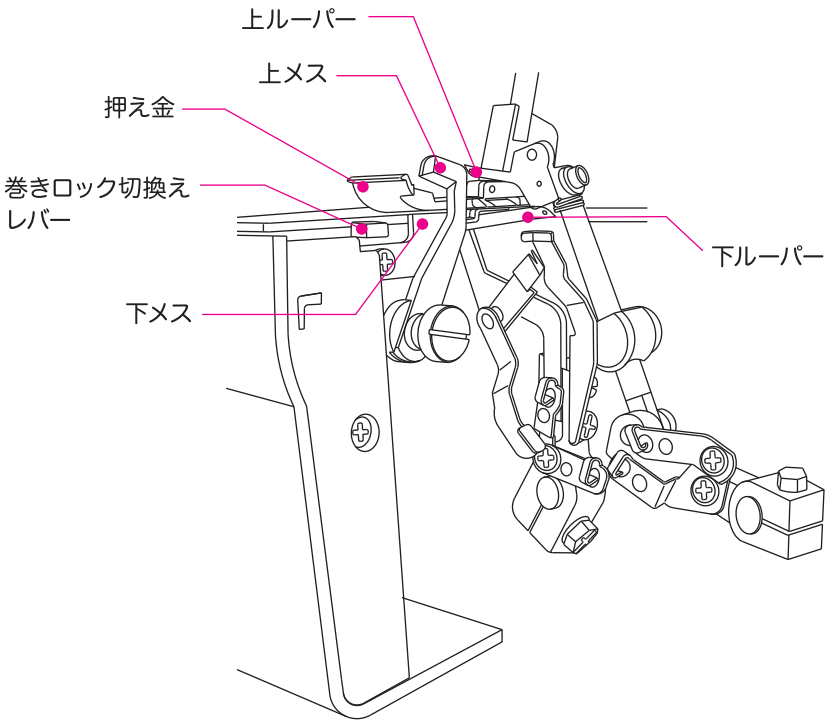
4 ルーパーカバーを開ける

⚠ 注意：この操作を行う前に、電源スイッチがオフになっていることを確認してください。

① ルーパーカバーを右側に押してください。
② カバーを手前の方向に引き下ろしてください。ルーパーカバーが開いている時はミシンは作動しません。



5 ルーパーカバー内の各部名称

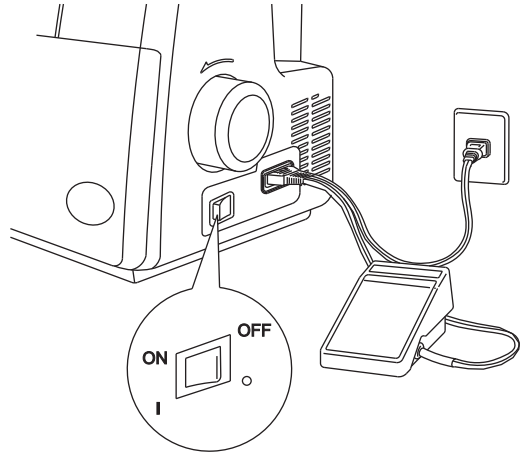


6 ミシンで縫う前の下準備

⚠ 注意：感電・火災・ケガの原因となります。

◆フットコントローラーの上に物を乗せないで下さい。長時間放置しますと火事になる恐れもあります。
◆このミシンに付属のコントローラーのみご使用いただけます。

- フットコントローラーの電源プラグをミシン本体のコンセントに差し込んでください。
- 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- フットコントローラーの踏み加減でスピードを調節します。
- フットコントローラーは強く踏むほど、ミシンの縫いスピードが速くなります。
- ミシンを停止させるには、足をフットコントローラーから離してください。

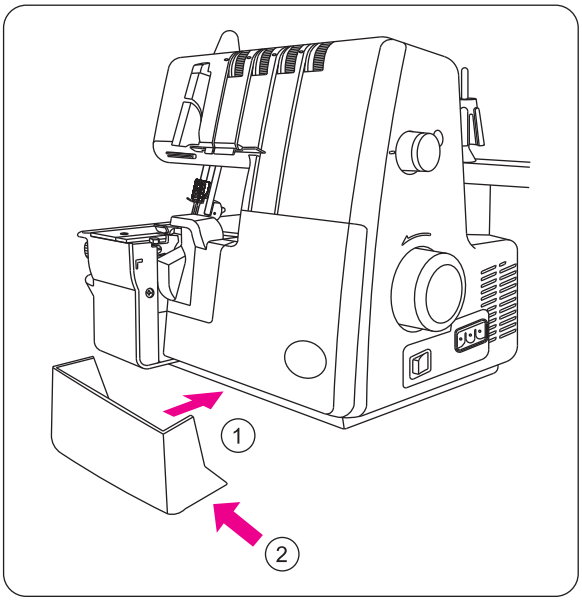


I マークの方に切り換えたら、オン。
O マークの方に切り換えたら、オフ。

7 布くず受けの取り付けと取りはずし

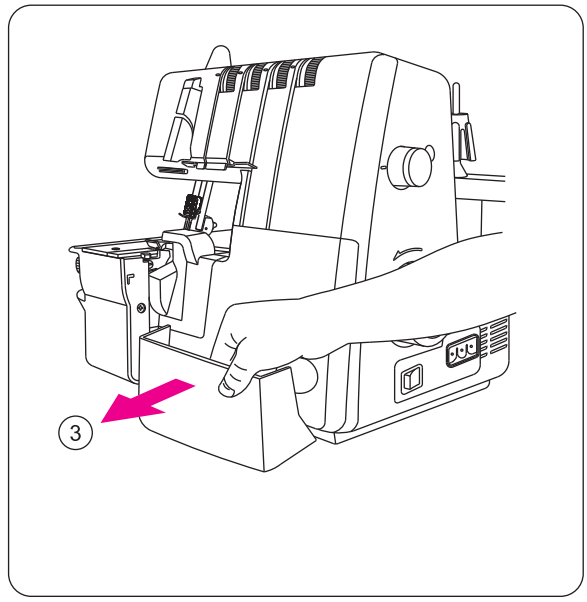
【取り付け】

布くず受けをルーパーカバーの下に取り付けてください。



【取りはずし】

下図のように、布くず受けを持ち、手前に引き出します。



8 糸の準備

【アンテナの取り付け】

・発泡スチロールの上からアンテナを取り出して、糸置き台にある穴に差し込んでください。(図1)
・アンテナを左右に少し回して、ストッパーに合わせます。(図2)
・アンテナの中央を持って、止まるところまでまっすぐに伸ばします。

図1

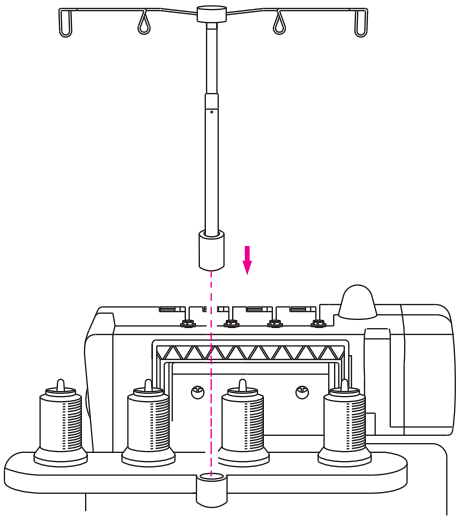
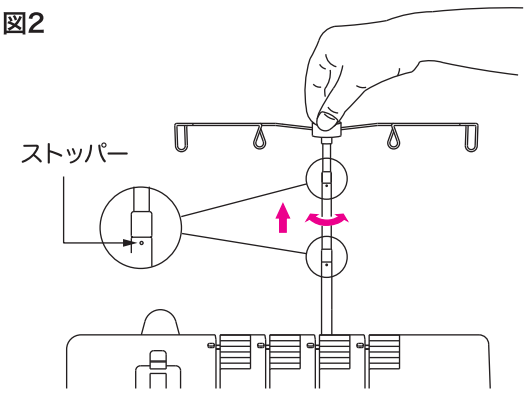
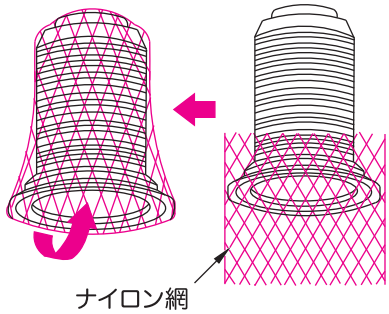


図2



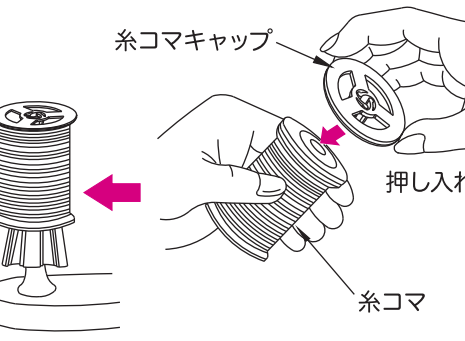
【ネット】

バラバラになりやすい化繊糸などを使う場合、ネットを使って、下から上に向かって糸コマを包んでください。糸コマの上下両端を空いたままにしておいてください。



【糸コマキャップ】

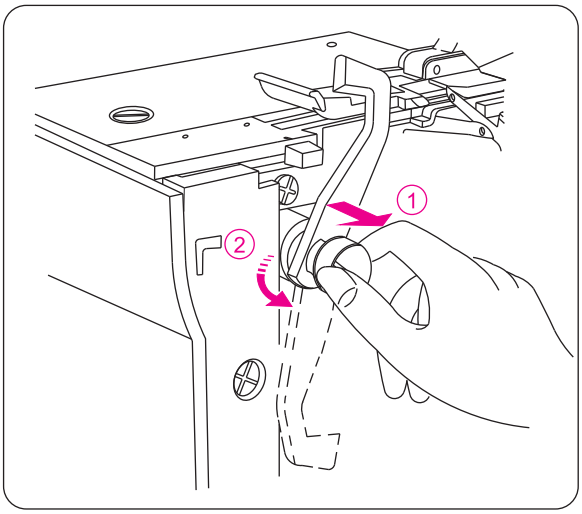
径の小さい糸コマを使用するときは、糸コマに糸コマキャップを押し入れて、糸立て棒に差し込みます。



9 布を切らずに縫うには

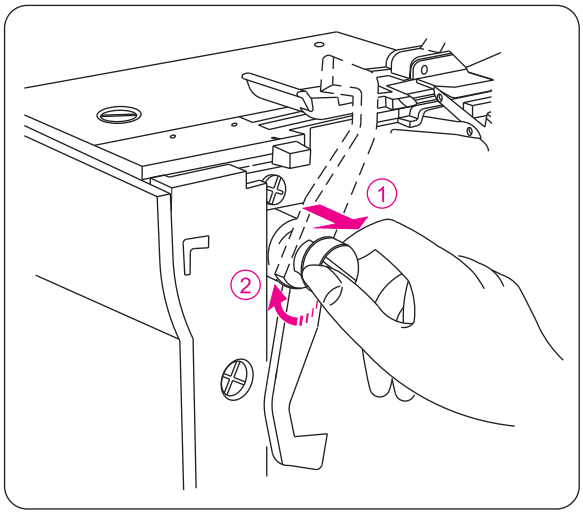
【布を切らずに縫う場合】

・ルーパーカバーを開けます。
・上メスを右側①に引っ張ってください。
・上メスが自動的に固定位置にロックされるまで反時計方向に回してください②。



【布を切れる状態にもどすには】

・ルーパーカバーを開けます。
・上メスを右側①に引っ張ってください。
・上メスが自動的に固定位置にロックされるまで時計方向に回してください②。

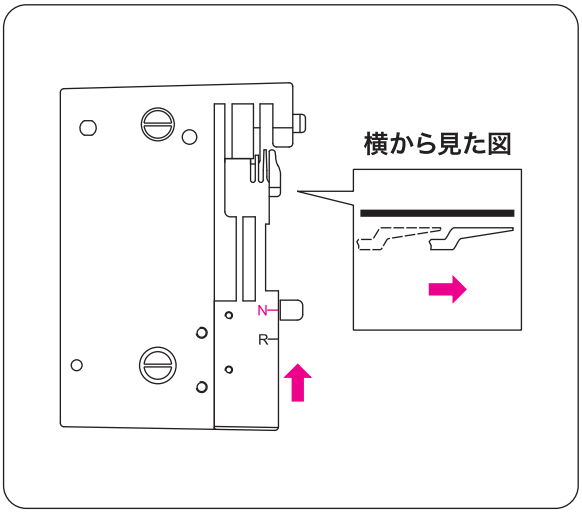


10 普通ロックと巻きロックの切換え

【普通ロック】

針板のレバーをNの位置にしてください。

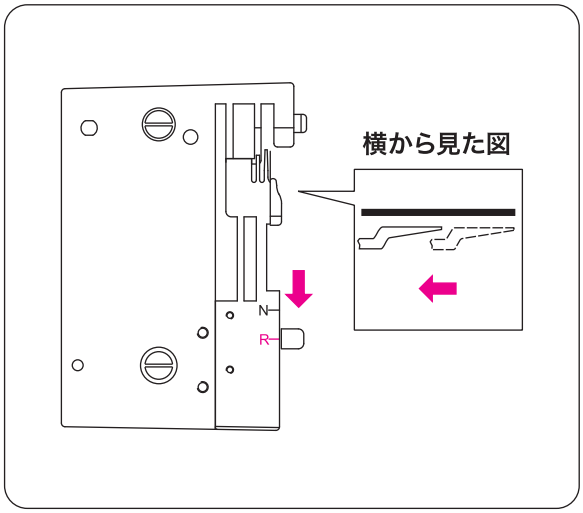
⚠ 注意:きちんとNの位置にレバーがあるかを確認して、縫ってください。



【巻きロック】

針板のレバーをRの位置にしてください。

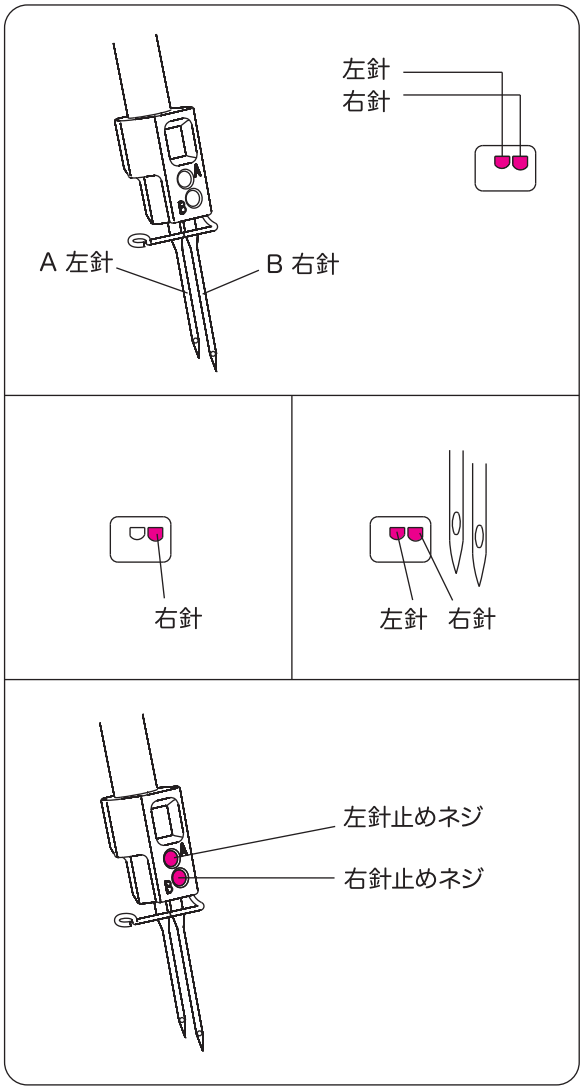
⚠ 注意:きちんとRの位置にレバーがあるかを確認して、縫ってください。



11 針の取り付けとはずし方

【針の位置】

・右針、左針を装着した場合、左針が少し高い位置になります。



【針のはずし方】

・手前の方向にはずみ車を回して、針を一番上まで上げてください。

・押え金の下に厚い布を置いてください。はずみ車を手前に回して、布に刺してください。

（押え上げレバーを下に下げると押え金が上がり、レバーを上に上げると押え金が下がります。）

六角ドライバーを使って、針止めネジをゆるめます。指で針を掴みながら、はずみ車を回します。これで、針が自然に布に残るので、その針を取ってください。

※ **使わない針を取り外した後は針止めネジをしっかりと固定してください。**

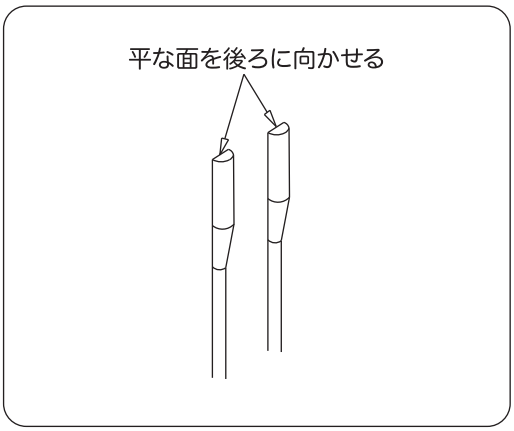
【針の取り付け】

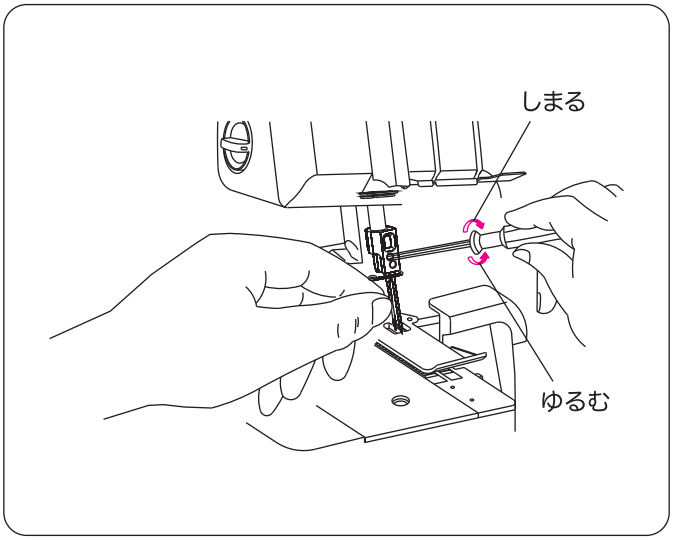
・手前の方向にはずみ車を回して、針を一番上まで上げてください。

・取り付けたい部分の針止めネジをゆるめます。ゆるめすぎるとはずれてしまうので、はずれないよう注意してください。

・指で針をつかんで、平らな面を後ろにして、針を取り付けます。

このミシンはEL×705の針を使用します。

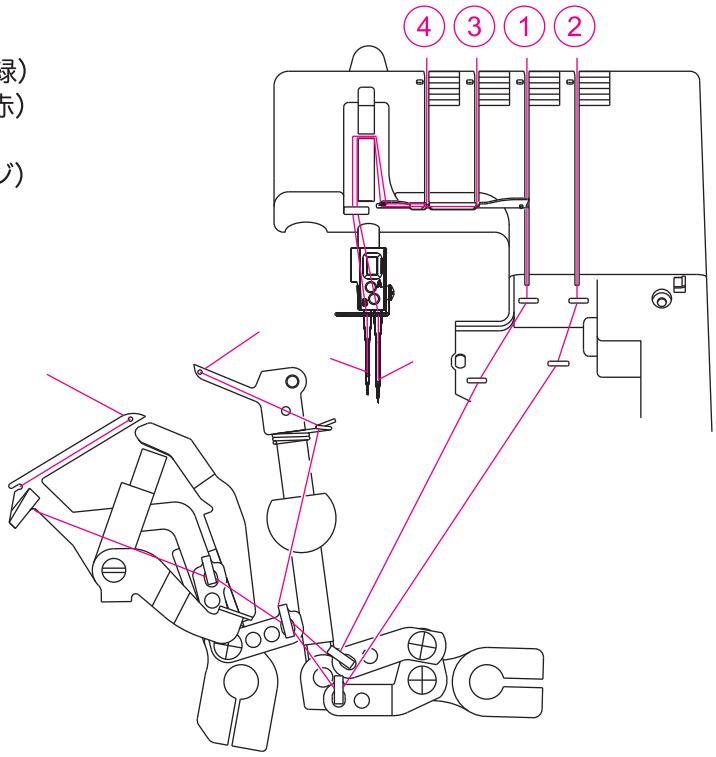


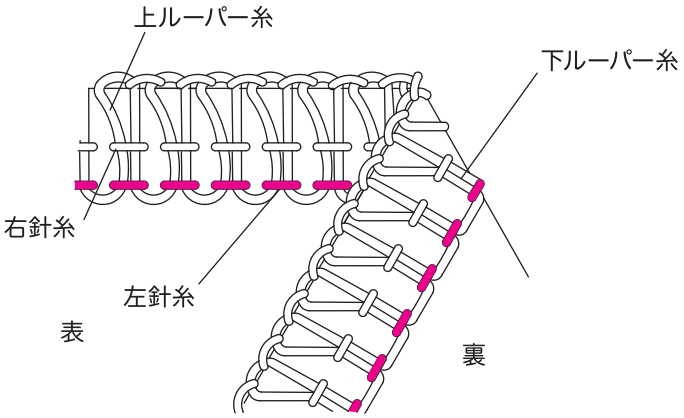


12 糸の通し方

糸を通すときは必ず押え金を上げてください。
・右図のように①～④の順番で糸を通してください。
・上ルーパー、下ルーパーのルーパーカバー内の糸掛けは、それぞれの色に対応した印に従ってかけていくことができます。

① 上ルーパー糸（緑）
② 下ルーパー糸（赤）
③ 右針糸（青）
④ 左針糸（オレンジ）

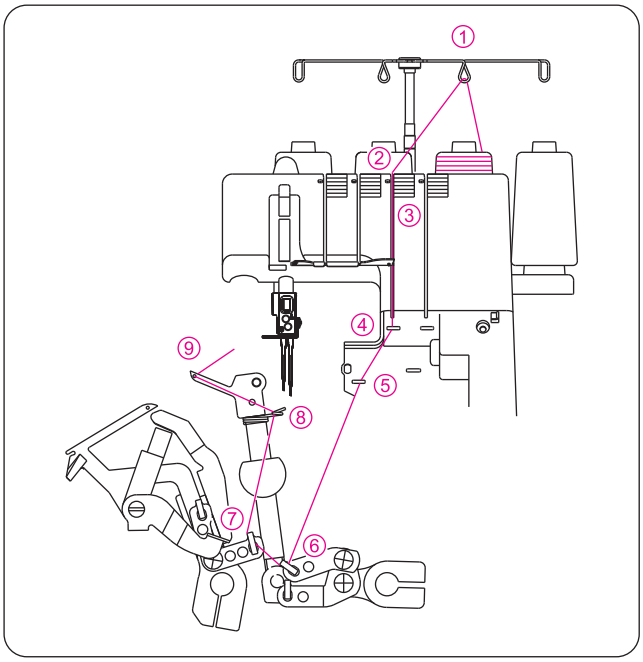




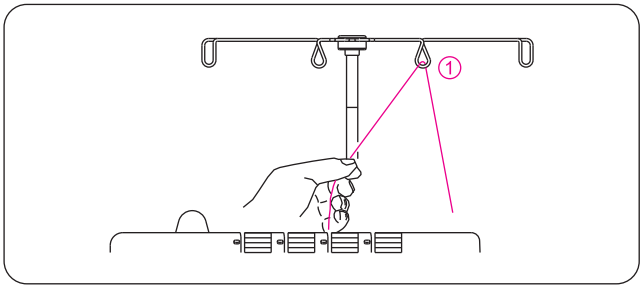
【上ルーパーの糸通し（緑）】

右図のような①～⑨の手順で、糸を通してください。

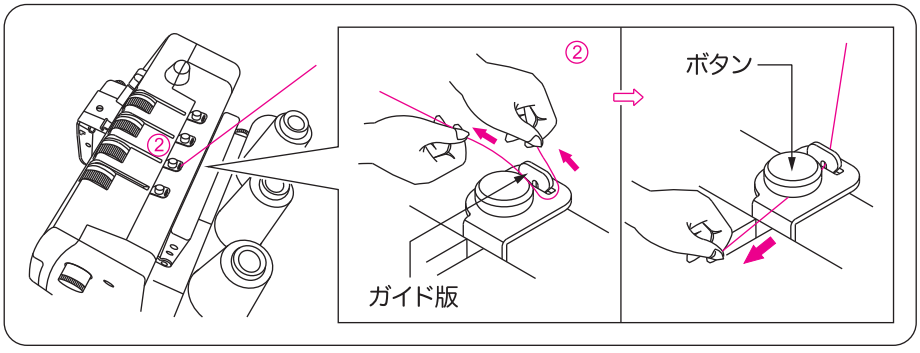
・糸掛けをする時には必ず押え金を上げてください。



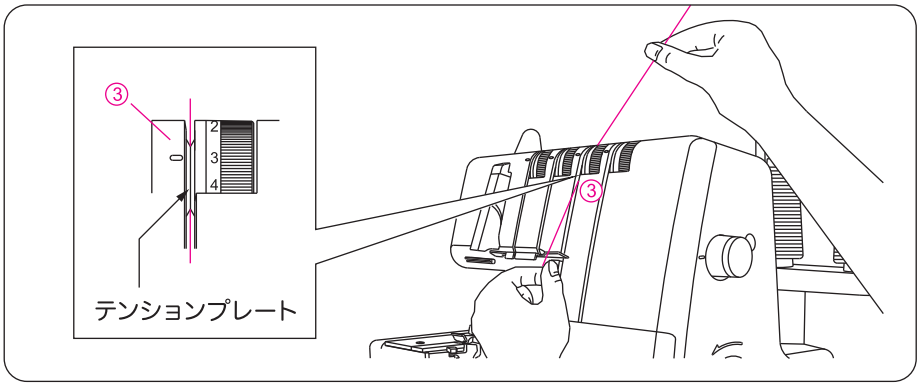
①右から2番目のアンテナガイドに糸を後ろから前に通します。



②糸をミシンの上部にあるガイド板に通して、ボタンの右側に沿って、糸を引き出します。



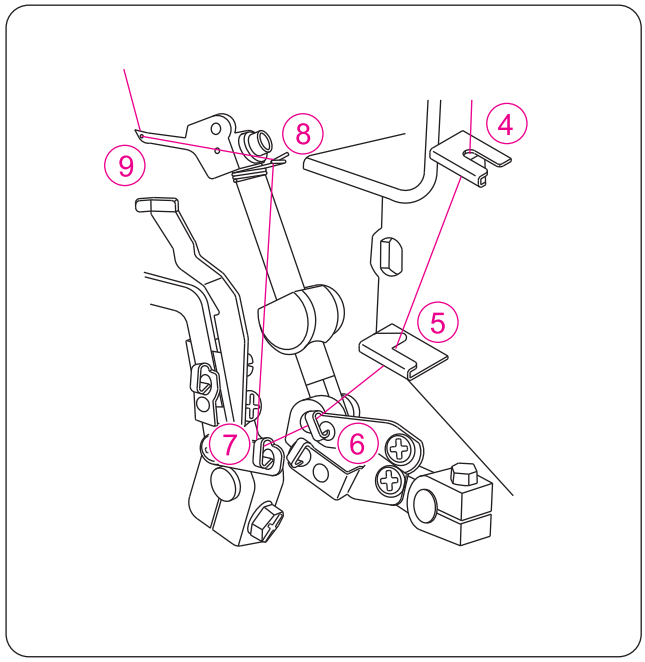
③図のように、指で糸を挟んで、糸を確実に2つのテンションプレートの間にはさませるように、下に引っ張ってください。



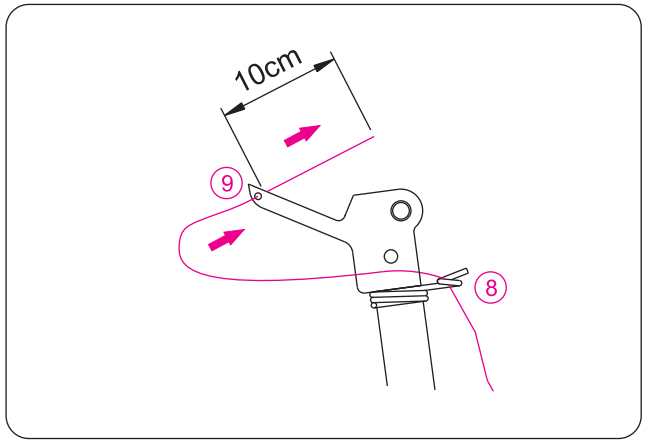
・ルーパーエリアの糸通しについては、緑の糸通しガイド（4〜9）を参照してください。

・上ルーパーの糸通しは前方から後方に通します。

※糸通しの補助器具として、アクセサリーボックスにあるピンセットを使ってください。

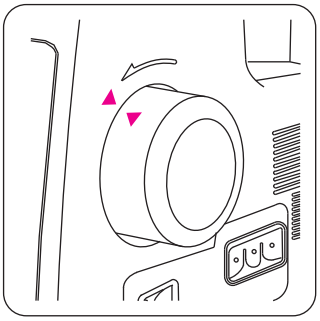


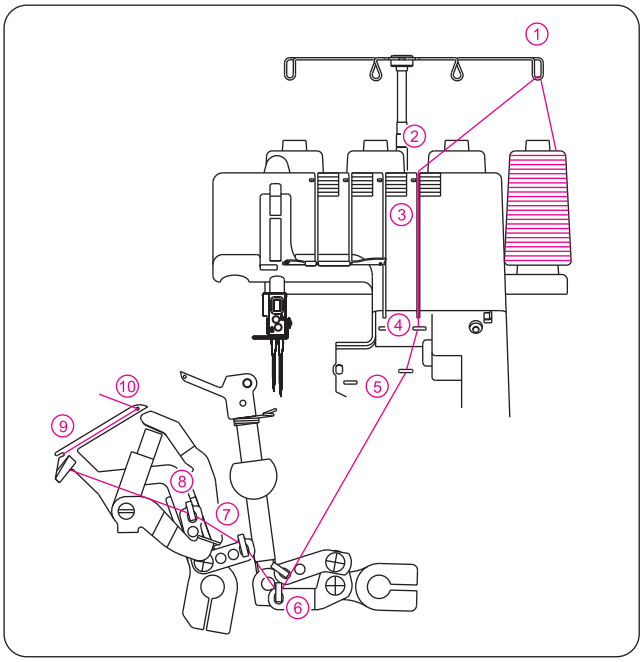
・糸が上ルーパーに通ったら、後ろに10㎝ほど引っ張って、針板の後方に置いてください。



【下ルーパーの糸通し（赤）】

はずみ車についている▲のマークを合わせます。

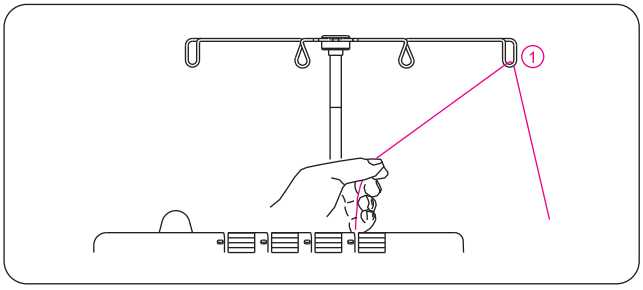




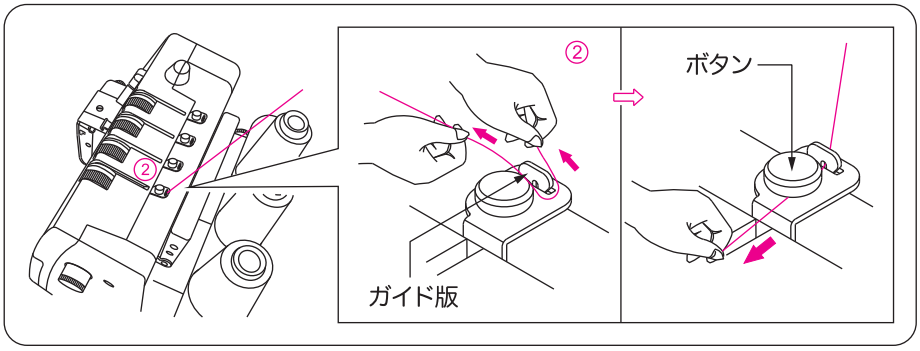
右図のような①～⑩の手順で、糸を通してください。

・糸掛けをする時には必ず押え金を上げてください。

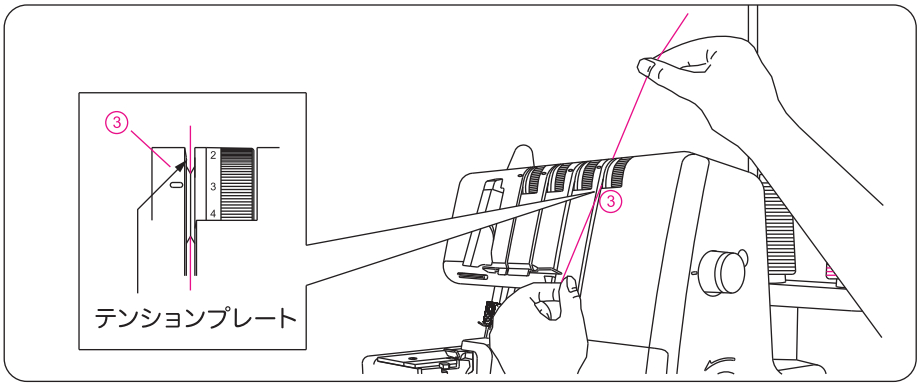
①右端のアンテナガイドに糸を後ろから前に通します。



②糸をミシンの上部にあるガイド板に通して、ボタンの右側に沿って、糸を引き出します。

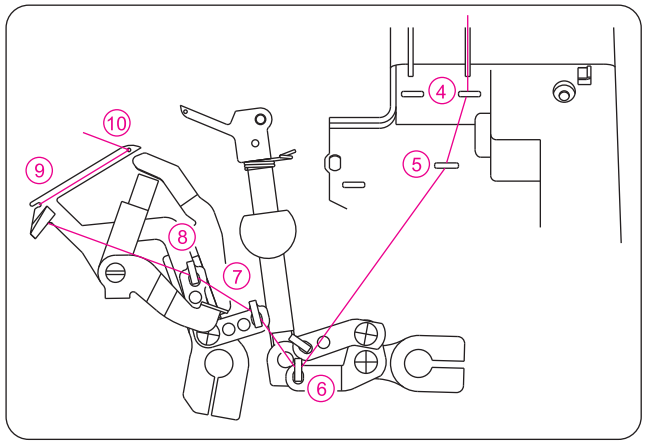


③図のように、指で糸を挟んで、糸を確実に2つのテンションプレートの間にはさませるように、下に引っ張ってください。

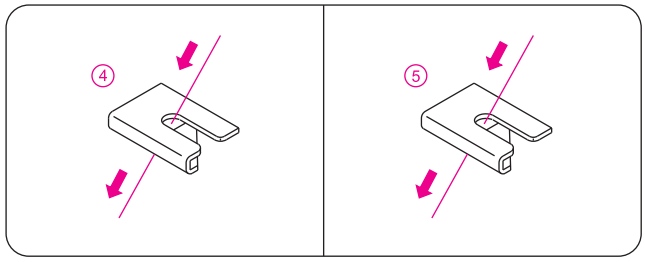


・ルーパーエリアの糸通しについては、赤の糸通しガイド（4～9）を参照してください。

※糸通しの補助器具として、アクセサリーボックスにあるピンセットを使ってください。



・糸を右から左へガイド板の中に通してください。④⑤



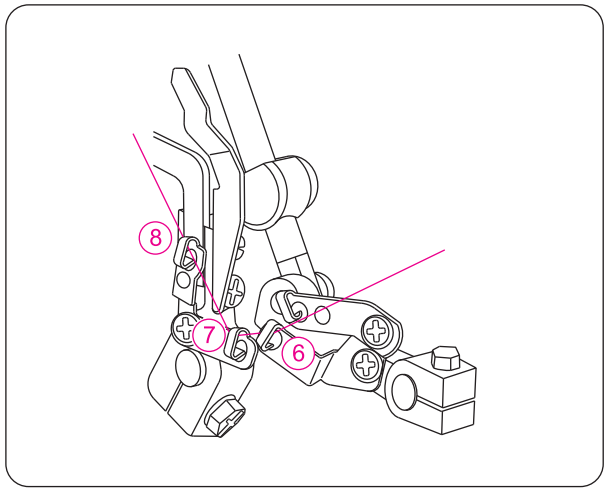
・糸を下から上へガイド板の中に通してください。⑥⑦⑧

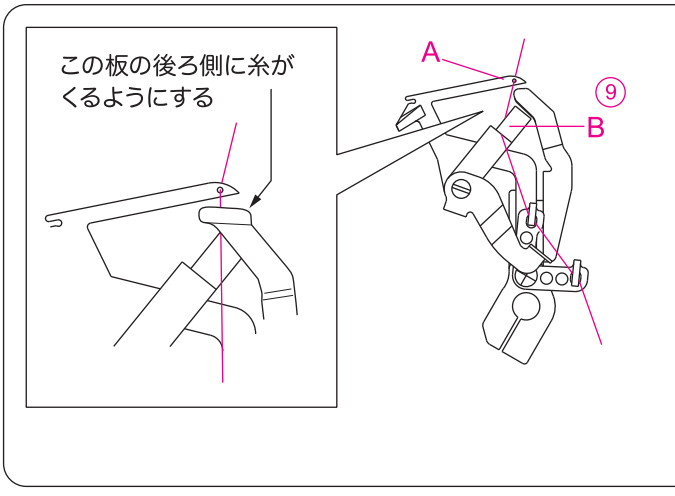
・糸を前から後ろへ下ルーパーの穴（A）に糸を通します。必ず上ルーパー糸の上へ引き出します。

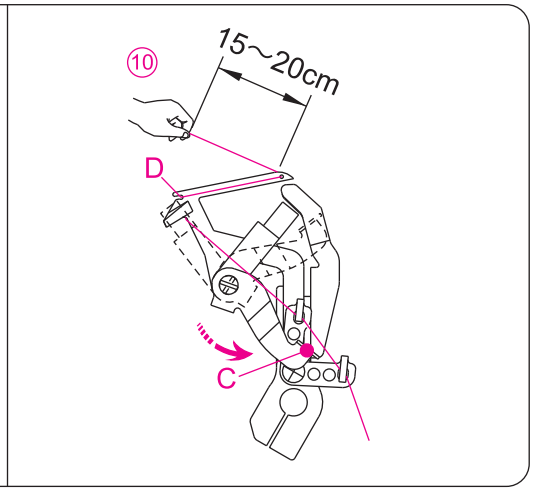
・糸を押え金の下に通した後、15～20cm程出しておきます。

・糸が⑨のように、糸かけフックBにかかるようにしておき、糸かけレバーCを止まるところまで上げたら、レバーから指をはずします⑩。

※糸通しの補助器具として、アクセサリーボックスにあるピンセットを使ってください。



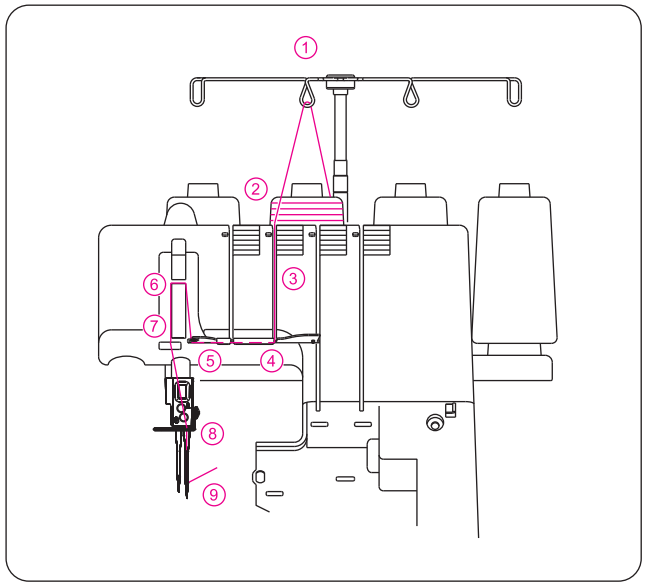




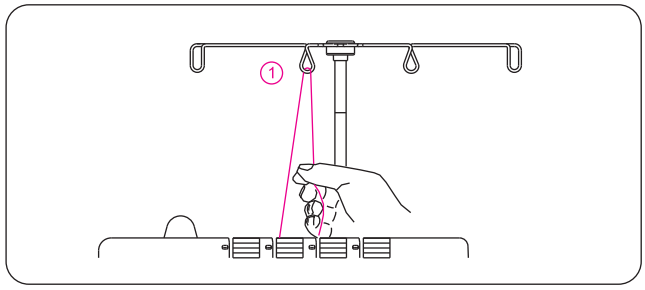
【右針の糸通し（青）】

右図のような①～⑨の手順で、糸を通してください。

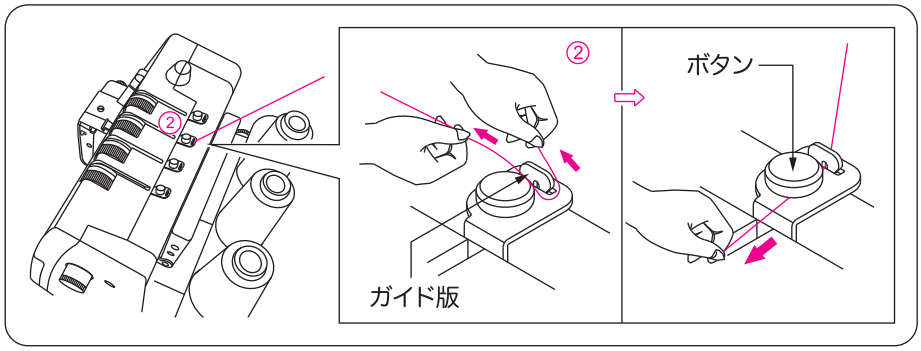
・糸掛けをする時には必ず押え金を上げてください。



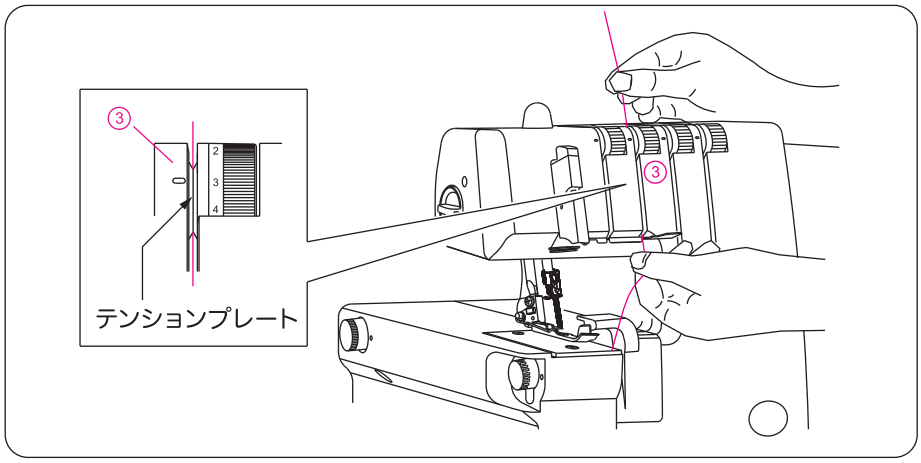
①左から2番目のアンテナガイドに糸を後ろから前に通します。



②糸をミシンの上部にあるガイド板に通して、ボタンの右側に沿って、糸を引き出します。



③図のように、指で糸を挟んで、糸を確実に2つのテンションプレートの間にはさませるように、下に引っ張ってください。



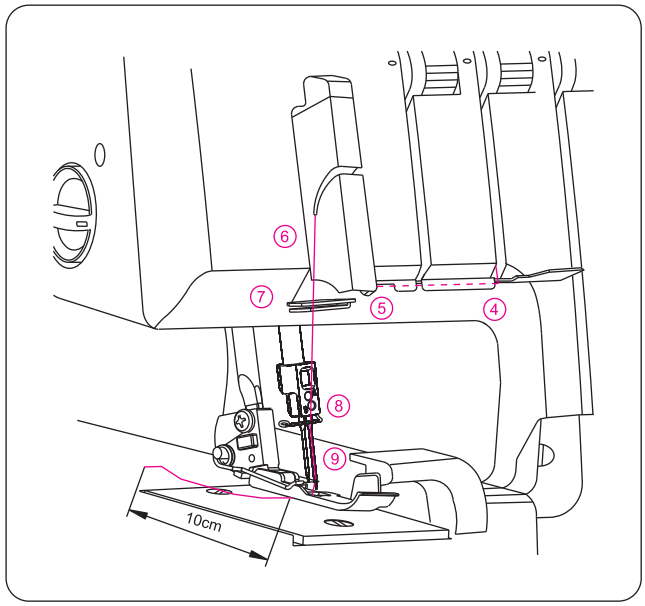
・ 糸を④から糸ガイド⑤の後部と天秤カバー⑥に通します。続けて、糸ガイド⑦と⑧の右側に糸を差し込みます。

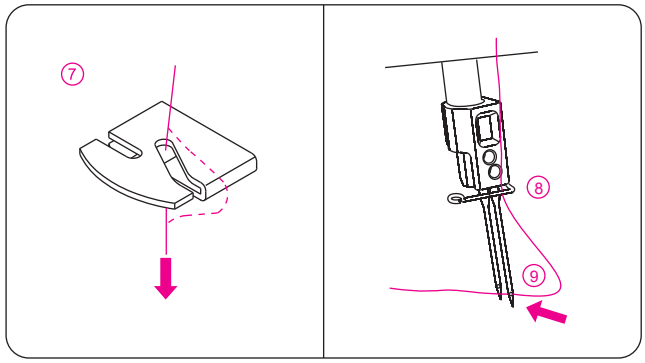
⑧の針棒糸案内は左側から糸を差し込みます。

・ 最後に糸を針穴⑨に通してください。

※糸通しの補助器具として、アクセサリーボックスにあるピンセットを使ってください。

・ 糸を針穴に通したら、押え金の下に通し左側におよそ10㎝程出しておきます。

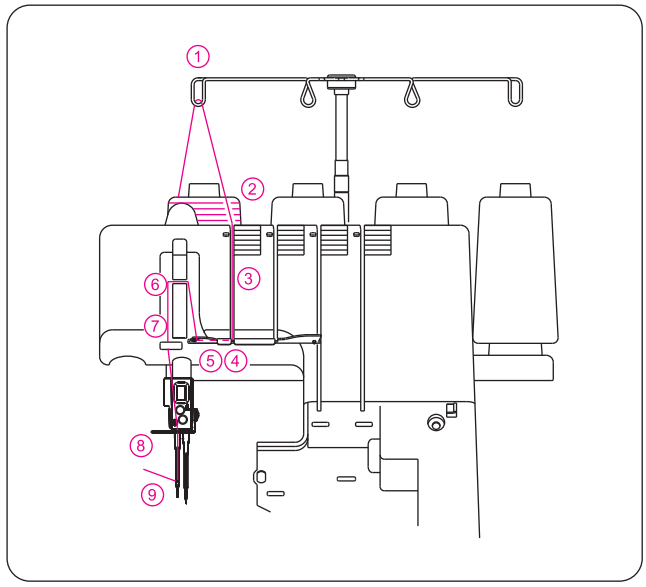




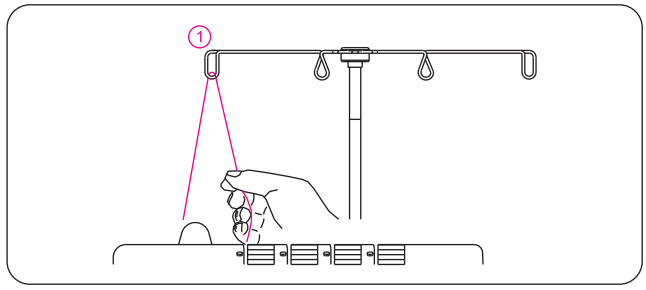
【左針の糸通し（オレンジ）】

右図のような①～⑨の手順で、糸を通してください。

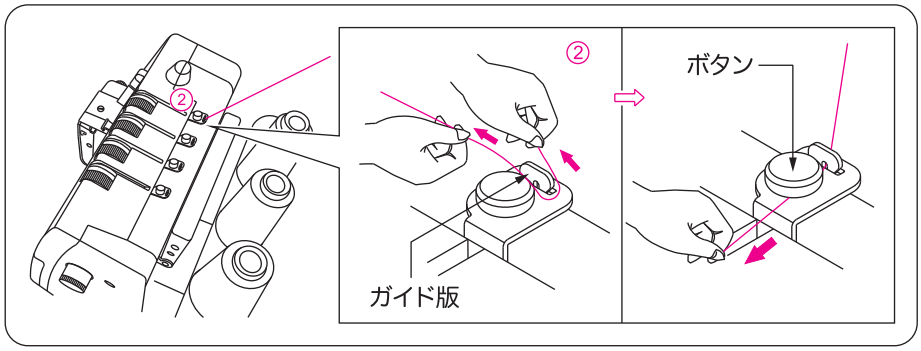
・糸掛けをする時には必ず押え金を上げてください。



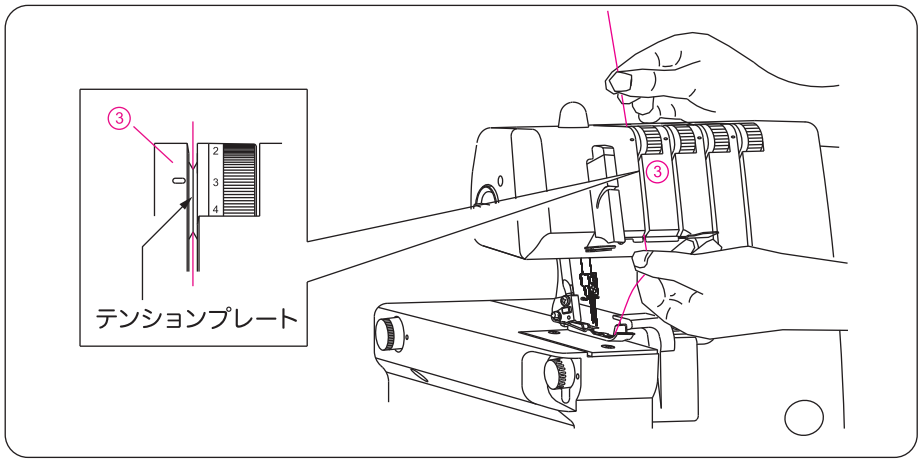
①左端のアンテナガイドに糸を後ろから前に通します。



②糸をミシンの上部にあるガイド板に通して、ボタンの右側に沿って、糸を引き出します。



③図のように、指で糸を挟んで、糸を確実に2つのテンションプレートの間にはさませるように、下に引っ張ってください。



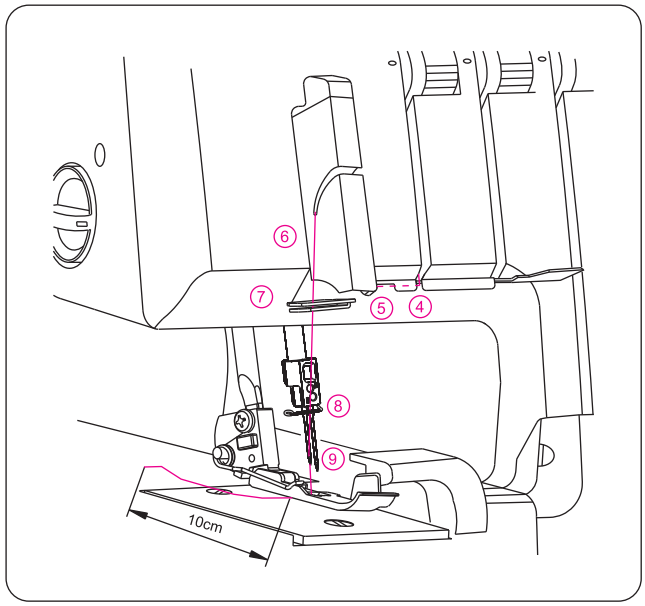
・糸を④から糸ガイド⑤の手前と、天秤カバー⑥に差し込みます。続けて、糸ガイド⑦と⑧の左側に糸を差し込みます。

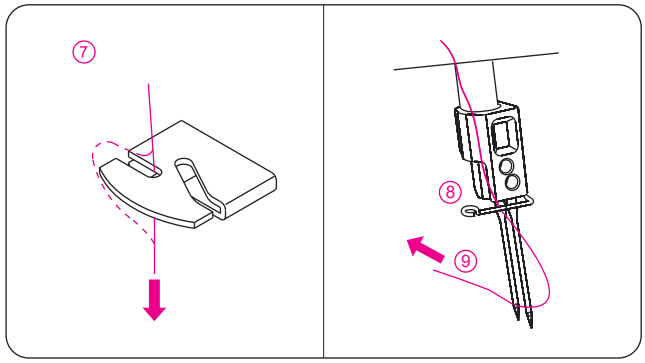
⑧の針棒糸案内は左側から差し込みます。

・最後に糸を針穴⑨に通してください。

※糸通しの補助器具として、アクセサリーボックスにあるピンセットを使ってください。

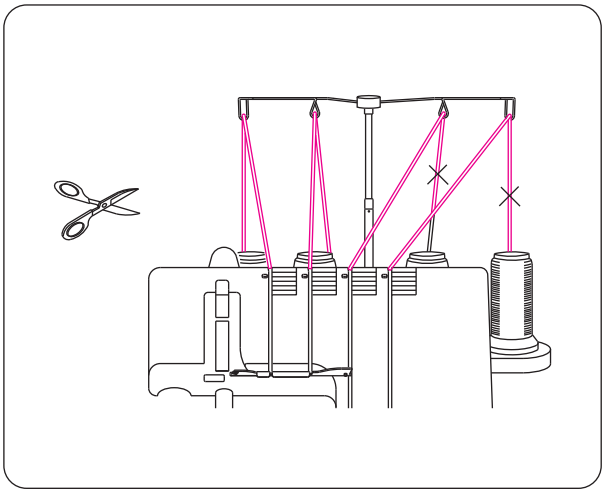
糸を穴に通したら、糸を押え金の後方におよそ10㎝程出しておきます。





13 糸をかえる／結んで交換する

・糸をかえたい時は図のように、糸を切ってください。



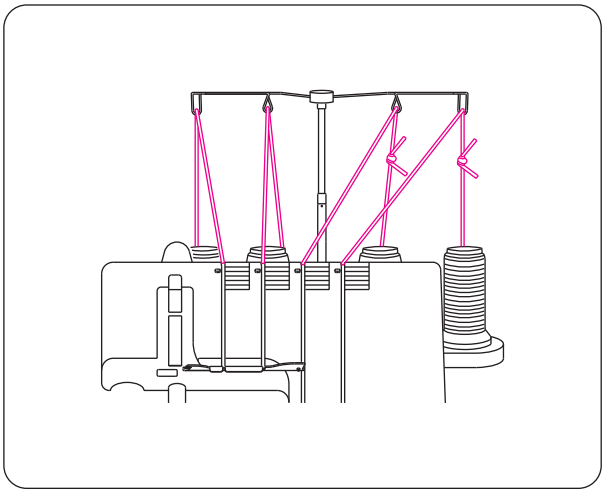
・糸を取りはずして、新しい糸を糸立台の上に置きます。

・新しい糸とアンテナに残った古い糸を結びつけます。

・しっかりと結びついているかどうかを確認してください。

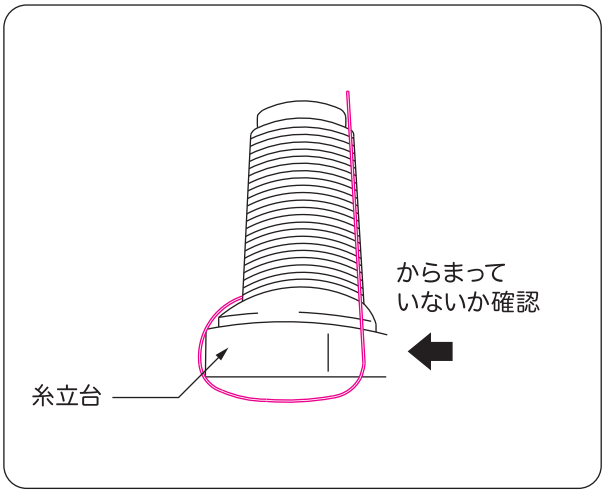
・押え金を上げて、テンションプレートを解放してください。

・糸を一本ずつ、針穴またはルーパー穴の前まで引っ張ってください。



・糸が引っ張りにくい場合、結び目がガイド板あるいは糸立台にからまっていないかを確認してください。

・最後に結び目を切って、針穴を通してください。

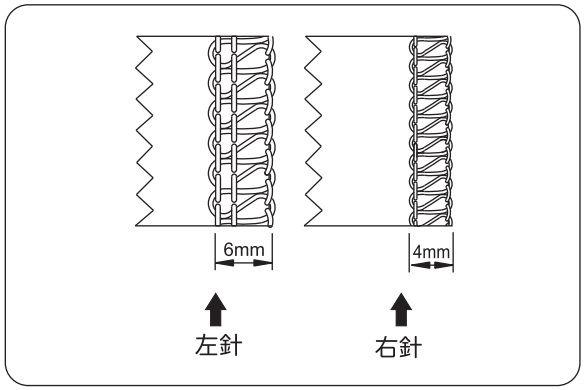


14 縫い目の幅を調整するには

針位置とメスの幅を調整することで、縫い目の幅が調整できます。

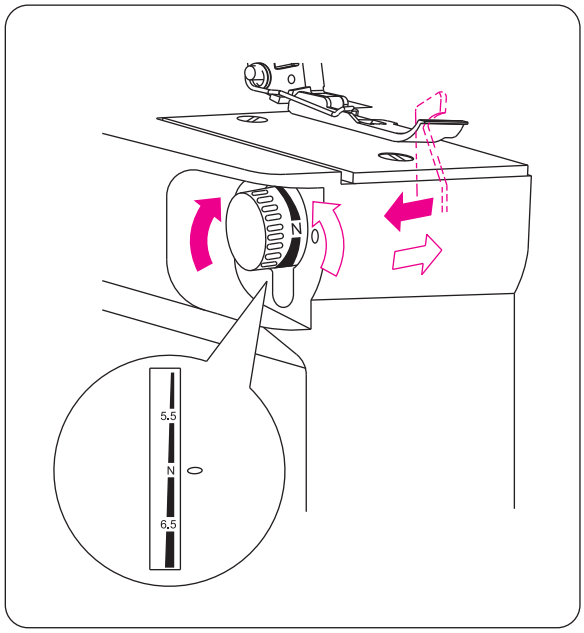
【針の位置変更で調整】

・以下のように、針の位置を変えることで、縫い目の幅を調整します。
A）左針だけを使う場合 6mm
B）右針だけを使う場合 4mm

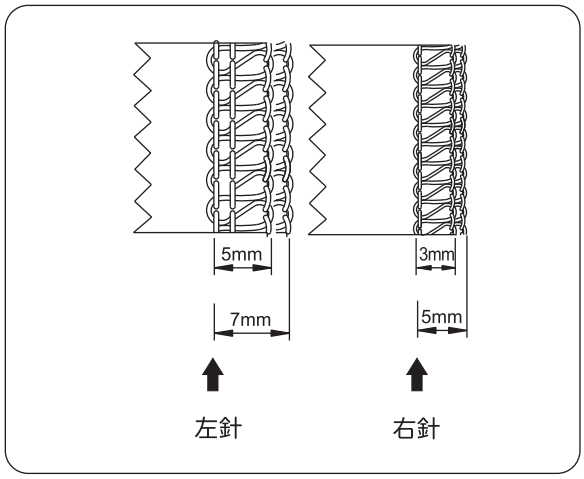


【切り幅調整ダイヤルを使う】

右図のように、反時計方向に回すと、幅が広くなります。時計方向に回すと、幅がせまくなります。



・以下のように、切り幅調整ダイヤルで縫い目の幅を調整します。
A）左針だけを使う場合 5〜7mm
B）右針だけを使う場合 3〜5mm

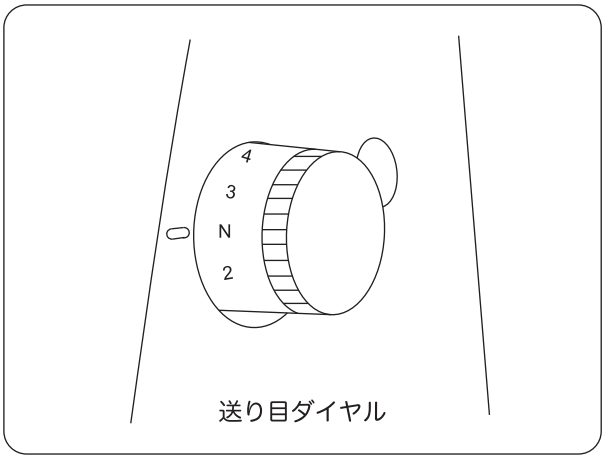


15 送り目の調節

①数字が大きくなるほど、縫い目は長くなり、数字が小さくなるほど、送り目は短くなります。

②送り目の長さは1～4mmの範囲で調節できます。

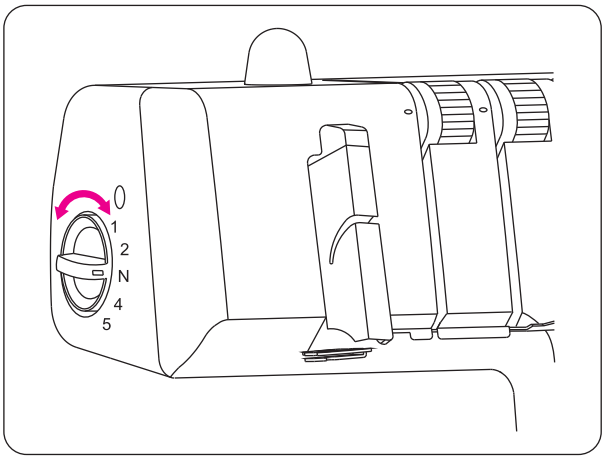
③Nは通常の送り目の目安です。



送り目ダイヤル

16 押え金の圧力を調整する

・押え金の圧力はNが標準です。
・薄い布の場合はN～1までの数字にダイヤルを合わせ調整します。
・厚い布の場合はN～5までの数字にダイヤルを合わせ調整します。



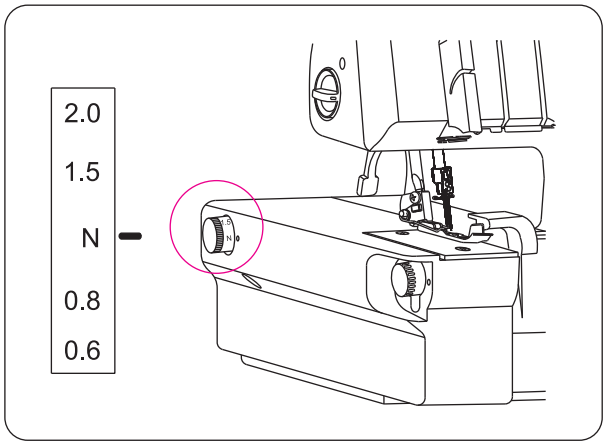
17 差動ダイヤルを使う

・差動ダイヤルは布の伸びと縮みを調整できます。

・差動比の範囲：0.6～2.0
右図に示すように、差動ダイヤルを動かすことで、差動比を調整します。

・オーバーロックミシンで伸び／縮み特性のある布に差動を使うことによって平らに縫うことができます。

Nの位置は差動比1：1です。普通はこの位置にセットします。



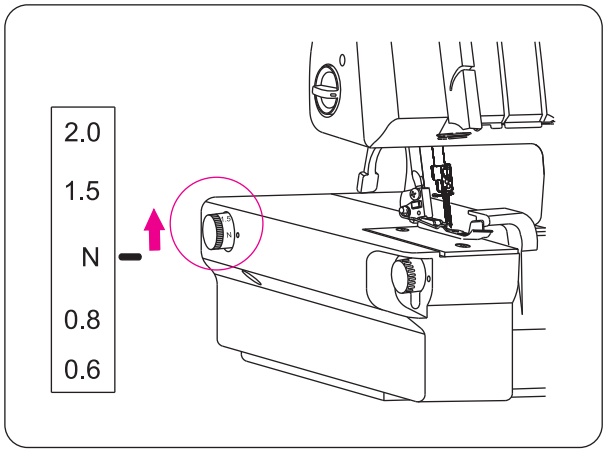
【縮み縫い】

・伸びやすい布地を縫う場合や、バイヤス地を縫う場合、ギャザーを寄せたい場合などに使用します。

布や用途によって、差動ダイヤルを調整します。

・差動ダイヤルをN–2.0の間に調整して、布によって、製品の出来が一番いい時の差動量に調整してください。縫う前に、まず試し縫いをして、調整してください。

※普通に縫う場合、必ず差動ダイヤルをNにもどしてください。



【伸ばし縫い】

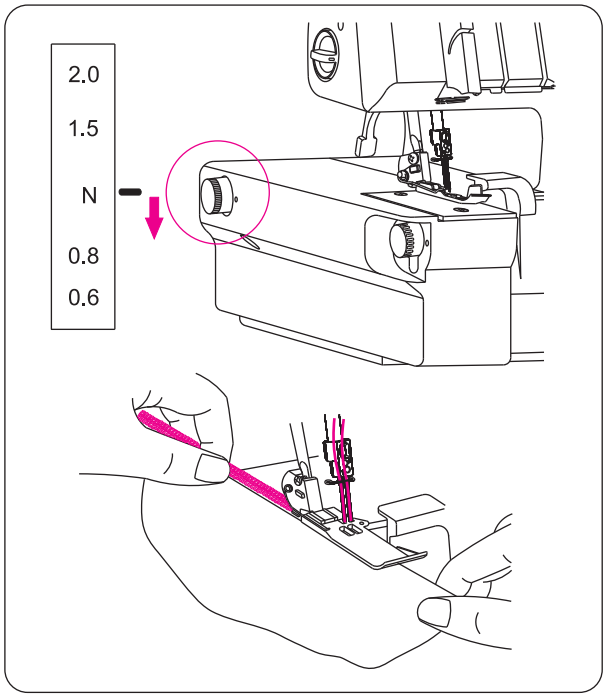
・縮みやすい布地を縫う場合や伸ばしながら縫う場合などに使用します。

布や用途によって、差動ダイヤルを調整します。

・差動ダイヤルを0.6–Nの間に調整します。
・縫うときに、押え金の後ろの布地を軽く引っ張ってください。

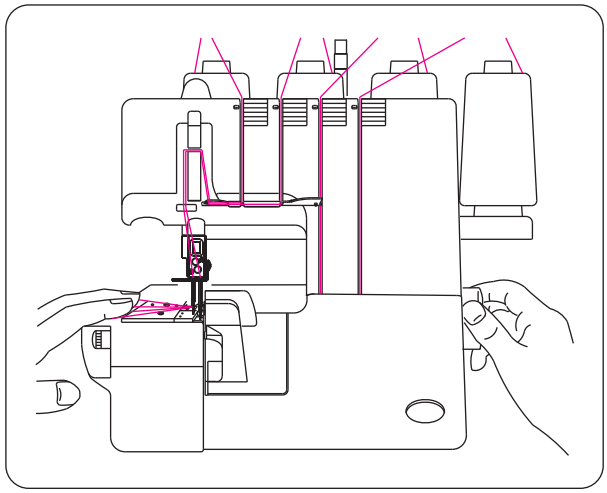
※縫い目長さの調整が大きすぎたり小さすぎると、布から縫い目がはずれる事があります。試し縫いをして調整してください。

※普通に縫う場合必ず差動ダイヤルをNにもどしてください。



18 空縫いと試し縫い

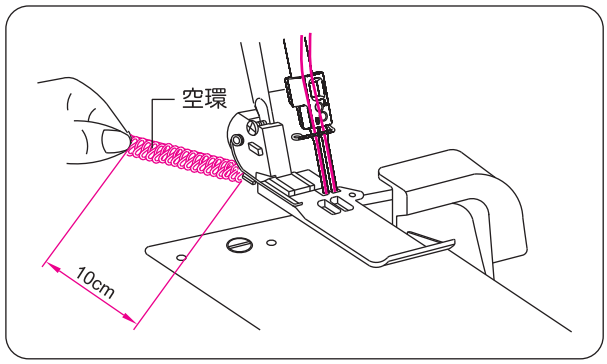
・糸通しが完成した後、糸をすべて押え金の下に置いてください。



・糸を軽く引いたまま、はずみ車を手前に2～3回まわして、糸が編まれていることを確認してください。

・押え金を下げます。

・コントローラーを軽く踏んで、空環（からかん）を10㎝程だします。



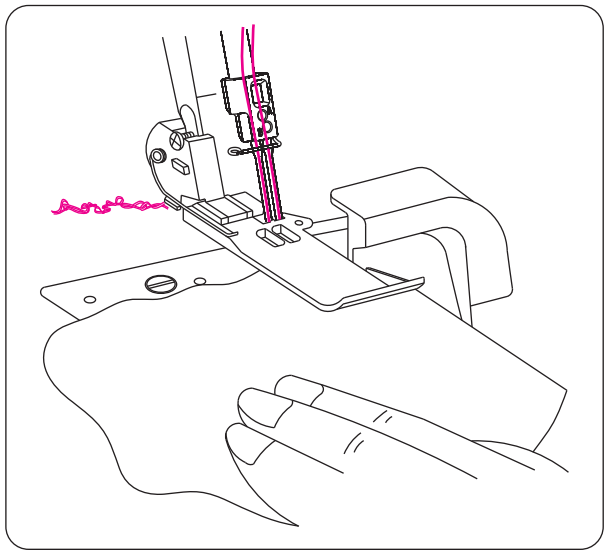
・試し縫い用の布を押え金の下に置いてください。

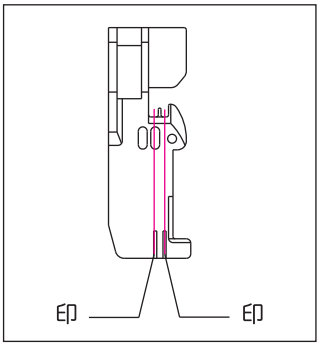
※ミシンを縫うときに、布を引っ張らないでください。針が曲がったり、折れる原因になります。

・試し縫いを行った後、糸が15～20㎝出るまで空縫いを続けてください。

※糸が詰まっている場合、布をちょっとだけ後ろへ引っ張ってください。

・糸を切ります。

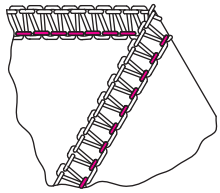
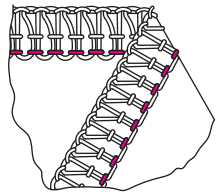
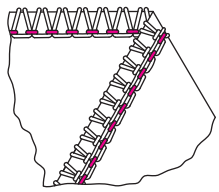




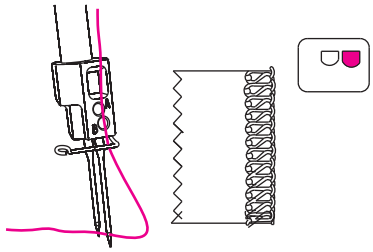
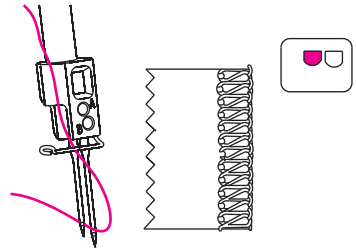
押え金先端の上に針の位置を表記する印があります。

19 各種縫い目の選択

このミシンは針の選択、糸調子の調整によって、下記のような縫い方ができます。

縫いパターン			参照ページ
3本糸オーバーロック		一般布のオーバーロックに使います。針の位置を変更して、布の幅4mmあるいは6mmを選べます。	26
4本糸オーバーロック		ニット素材の縫い合わせに使います。	27
変形巻きロック		ふちをかがるだけでなく、装飾としても使われます。 巻きながら縫うので、厚物には不向きです。	28

このミシンは、針位置によって、標準4mmと6mmオーバーロックが縫えます。
厚い布に対しても、布切り幅調節ダイヤルで縫い目の幅を増やせます。(P20参照)

オーバーロックの幅	4.0mm	6.0mm
使う針の位置	オーバーロック右針	オーバーロック左針
糸掛け	青	オレンジ
		

20 糸調整一覧表

縫いパターン		糸調整ダイヤル				参照ページ
		オレンジ	青	緑	赤	
3本糸オーバーロック	4.0mm		4.0	4.0	4.0	26
	6.0mm	4.0		3.5	3.5	
4本糸オーバーロック		4.0	4.0	4.0	4.0	27
標準巻きロック	4.0mm		4.0	5.0	4.0	29
変形巻きロック	4.0mm		5.0	4.0	7.0	29

※上記の数字はあくまで目安です。布地の種類や厚さ、また糸の種類や太さによって、バランスのとれた美しい縫い目になるように、各糸調子ダイヤルで調整してください。

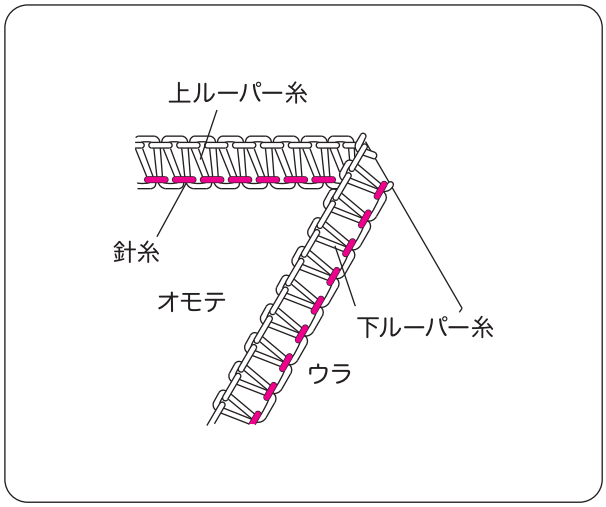
21 設定と縫い方

【3本糸オーバーロック】

縫いパターンに合わせて糸調子ダイヤルを設定すると、最適の糸調子がセットされます。
必要な場合は以下1）～3）に合わせて糸調子の微調整を行ってください。

1）布の種類と厚さ
2）針のサイズ
3）糸の番手、種類

針の位置		
針板レバーの位置	N	
縫い目の長さ	2～4	



●正しい糸調子

・下図のように、糸調子ダイヤルを設定して、試し縫いを行います。

右針使用の場合

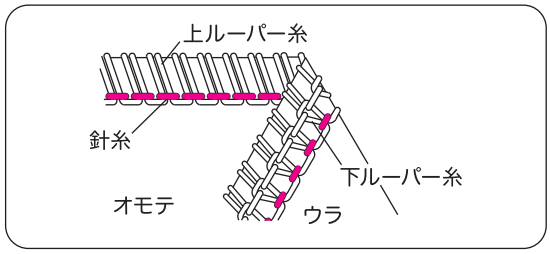
布	糸調子ダイヤル			
	オレンジ	青	緑	赤
中度～薄い		4.0	4.0	4.0

左針使用の場合

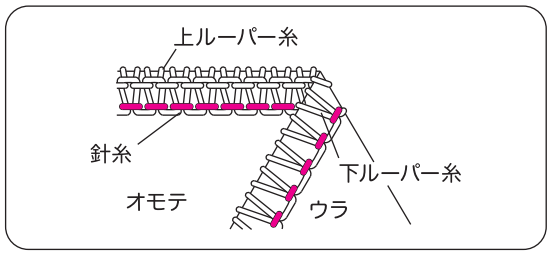
布	糸調子ダイヤル			
	オレンジ	青	緑	赤
中度～厚い	4.0		3.5	3.5

●糸調子を調整するには

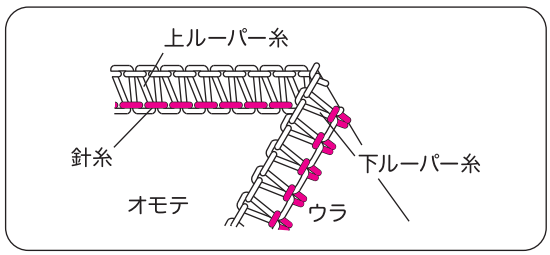
[上ルーパー糸が布のウラに出る場合]
・上ルーパー糸調子ダイヤル（緑）の数字を多くします。
・もしくは、下ルーパー糸調子ダイヤル（赤）の数字を少なくします。



[下ルーパー糸が布のオモテに出る場合]
・下ルーパー糸調子ダイヤル（赤）の数字を多くします。
・もしくは、上ルーパー糸調子ダイヤル（緑）の数字を少なくします。



[針糸がゆるみすぎる場合]
・針糸調子ダイヤル（オレンジもしくは青）の数字を多くします。

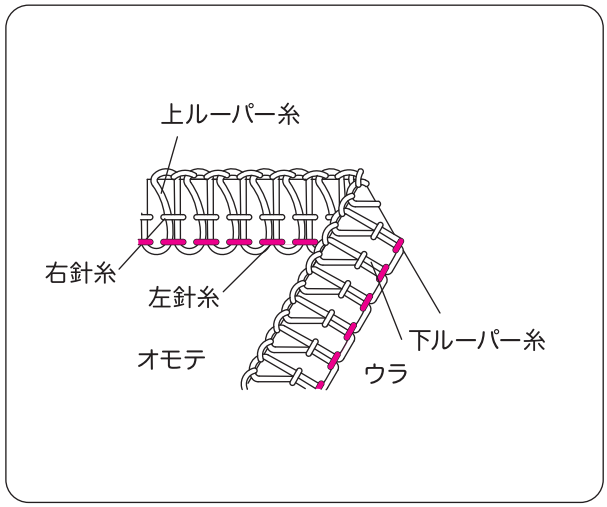


【4本糸オーバーロック】

縫いパターンに合わせて糸調子ダイヤルを設定すると、最適の糸調子がセットされます。
必要な場合は以下1）～3）に合わせて糸調子の微調整を行ってください。

1）布の種類と厚さ
2）針のサイズ
3）糸の番手、種類

針の位置	
針板レバーの位置	N
縫い目の長さ	2～4



●正しい糸調子

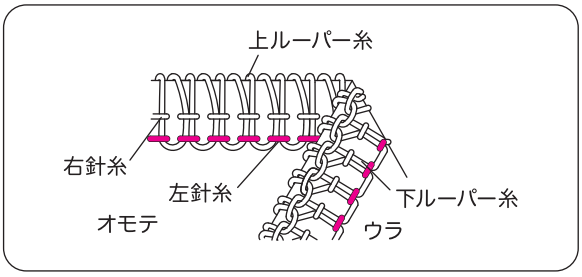
・右表のように、糸調子ダイヤルを設定して、試し縫いを行います。

布	糸調子ダイヤル			
	オレンジ	青	緑	赤
中度～厚い	4.0	4.0	4.0	4.0

●糸調子を調整するには

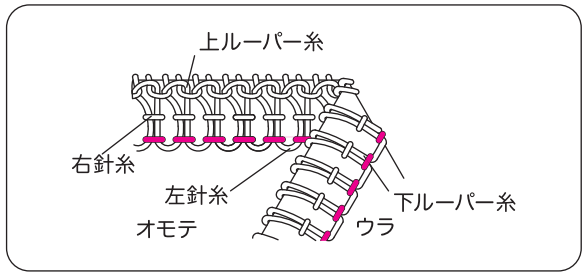
［上ルーパー糸が布のウラに出る場合］

・上ルーパー糸調子ダイヤル（緑）の数字を多くします。
・もしくは、下ルーパー糸調子ダイヤル（赤）の数字を少なくします。



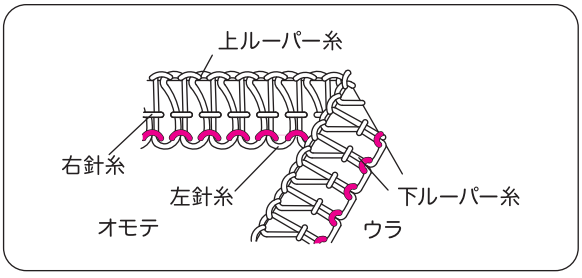
［下ルーパー糸が布のオモテに出る場合］

・下ルーパー糸調子ダイヤル（赤）の数字を多くします。
・もしくは、上ルーパー糸調子ダイヤル（緑）の数字を少なくします。



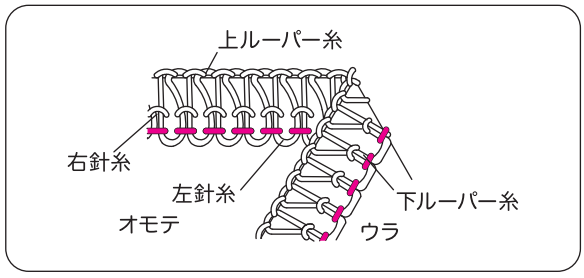
［左側の糸がゆるみすぎる場合］

・左糸調子ダイヤル（オレンジ）の数字を多くします。



［右側の糸がゆるみすぎる場合］

・右糸調子ダイヤル（青）の数字を多くします。



22 巻きロックを縫うには

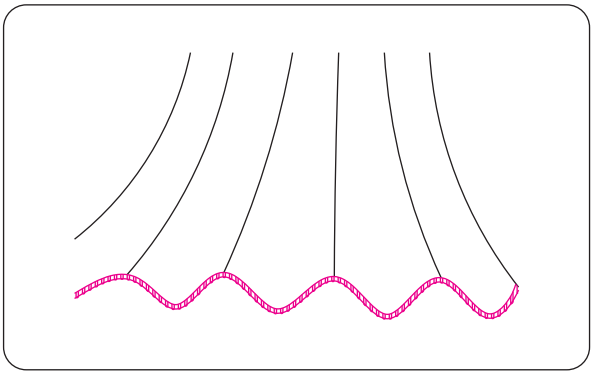
このオーバーロックミシンで2種類の巻きロックが縫えます。

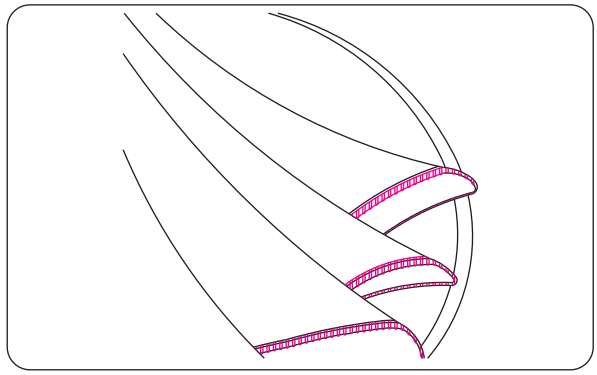
・巻きロックというのは布を巻きながら、オーバーロックができることです。

・軽くて薄い布、たとえば、ローン、ボイル、オーガンジーなどにすばらしい効果が得られます。

・厚い布と硬い生地には適しません。

※巻きロックをする場合、左側の針は使えません。





【ミシンの設定】

・左側の針を取り外してください。

・普通ロック・巻きロック切換えレバーをRに切り換えます。

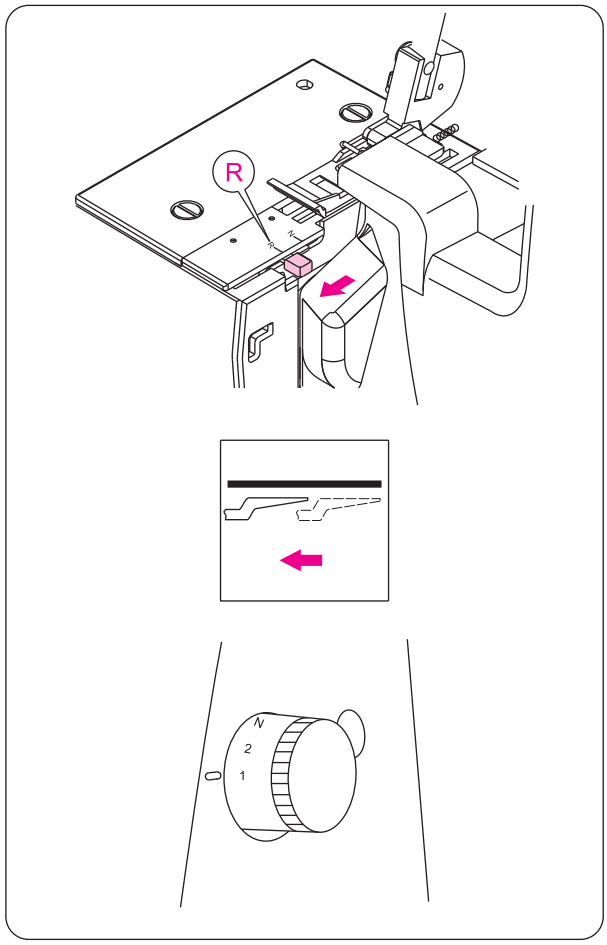
・生地に応じて、布地の切り幅を調整してください。

・縫い目の長さを1～2の間に設定することで、細かく布縁が縫えます。

・針：EL×705（#12）

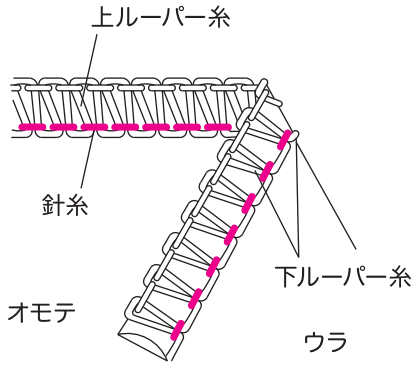
・糸：いろいろな種類の糸を合わせて、巻きロックが縫えます。

※変形巻きロックの時、上ルーパー糸にウーリーナイロン糸を使用すると、縫い目がつまり、綺麗に縫えます。



【3本糸標準巻きロック】

針の位置	
針板レバーの位置	R
縫い目の長さ	1〜2



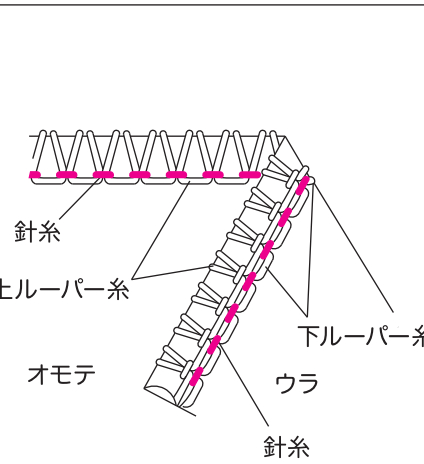
●正しい糸調子

・下図のように、糸調子ダイヤルを設定して、試し縫いを行います。

布	糸調子ダイヤル			
	オレンジ	青	緑	赤
薄地		4.0	5.0	4.0

【3本糸変形巻きロック】

針の位置	
針板レバーの位置	R
縫い目の長さ	1〜2



●正しい糸調子

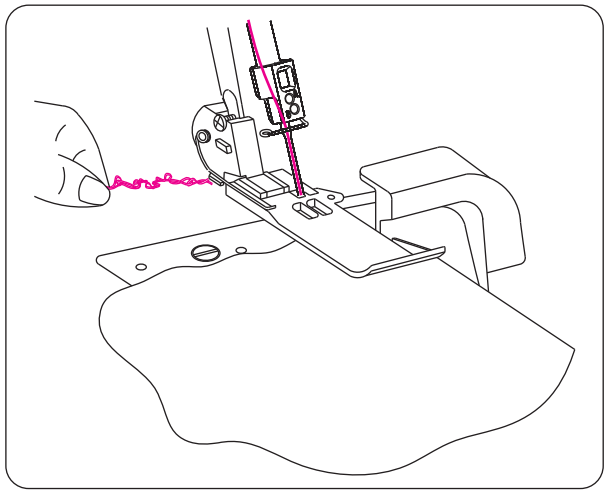
・下図のように、糸調子ダイヤルを設定して、試し縫いを行います。

布	糸調子ダイヤル			
	オレンジ	青	緑	赤
薄地		5.0	4.0	7.0

※変形巻きロックの時、上ルーパー糸にウーリーナイロン糸を使用すると、縫い目がつまり、綺麗に縫えます。

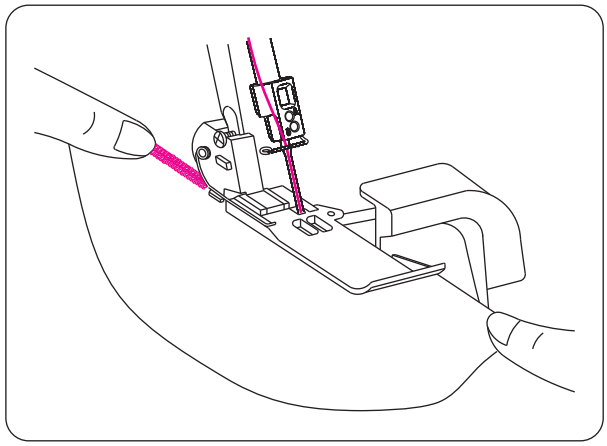
【巻きロックについての補足説明】

・縫い始めの糸がミシンに巻き込まれないように、空縫い糸の先端をしっかりと持ってください。



・縫う方向に沿って、布を軽く引くと、スムーズに布端を細くかがることができます。

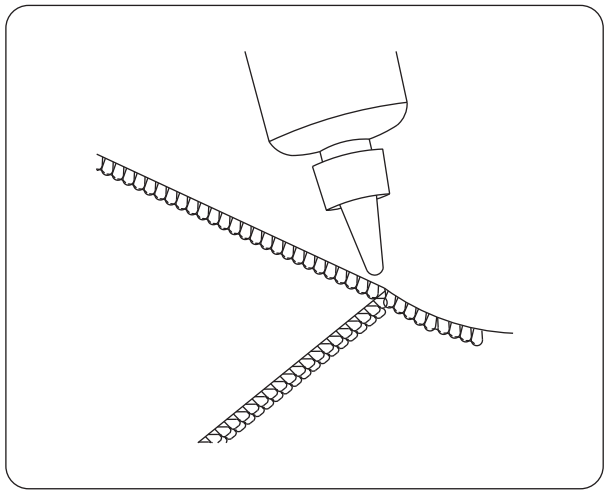
・かがり幅は標準でおよそ1.5mmになります。



【巻きロックの縫い終わり処理】

・縫い目の末端に固定剤を少量つけて、乾燥したら、余った糸を切ります。

※固定剤を使う前に、布が変色しないかあらかじめ確かめておいてください。



23 縫いテクニック

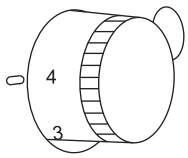
【裾引き縫い】

・余分な布を切って、まつり縫いと縁かがりが一度にできます。

・裾引き縫いはニットに最適です。

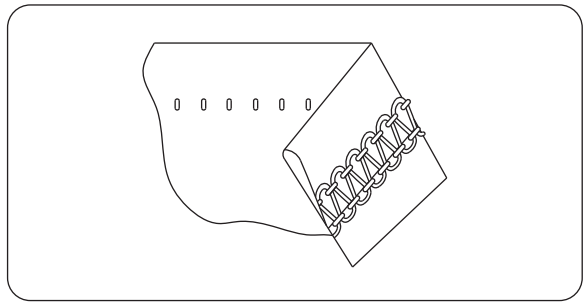
・右針を使って、ミシンを3本糸の状態にします。(P29参照)

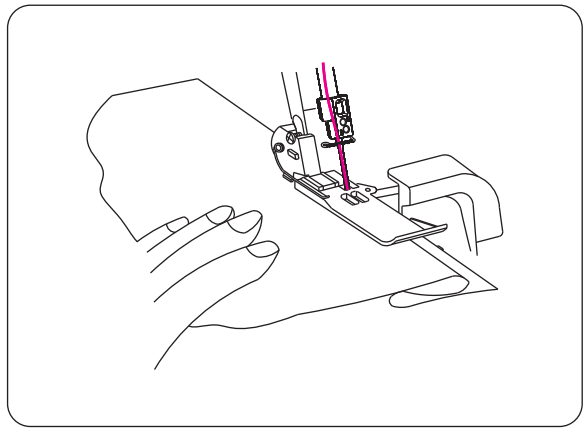
・送り目調整ダイヤルを4に設定してください。



・布端が折り山から6mm程出るように、右図のように布地を折ります。
・針を布の折り山部分ぎりぎりに合わせて縫ってください。

※裾引き押え金(オプション)を使用します。(P36参照)

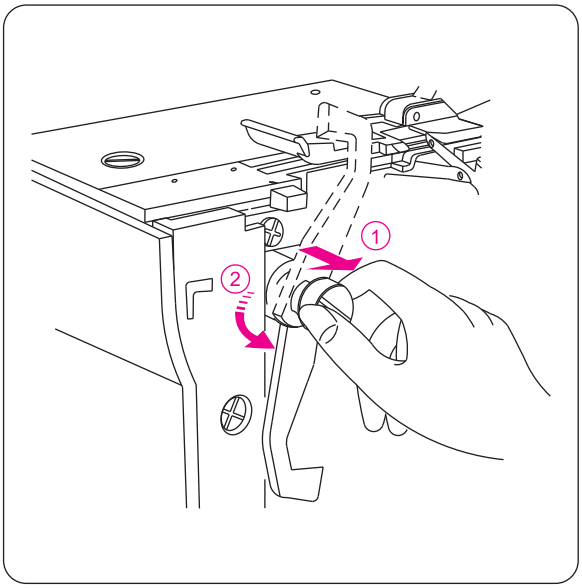




【ピンタックを縫うには】

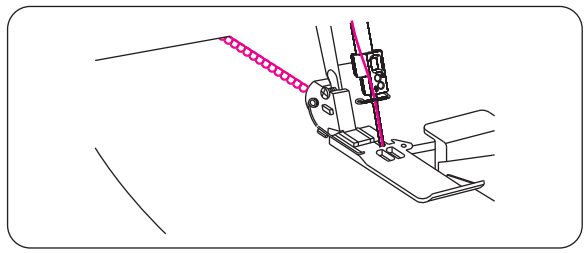
・右針を使って、ミシンを3本糸の状態に設定してください。
※巻きロックにもこの方法が使えます。

・上メスを固定してください。(P8参照)
※これは布を切らない縫い方です。

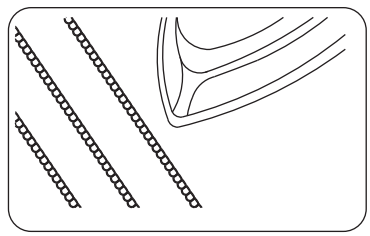


・チャコペンなどで布の表面のピンタックを寄せたいところにしるしを書いてください。

・しるしに合わせて布の表を上にして二つ折りし、折り山部分を縫います。



・ピンタックを同じ方向におしアイロンをかけます。



【アウトサイドコーナーを縫う】

・布の角から、裁断線に沿って、およそ2cmぐらいの長さを切ります。

・ミシンで縫って、A地点を少し過ぎたら、ミシンを止めます。

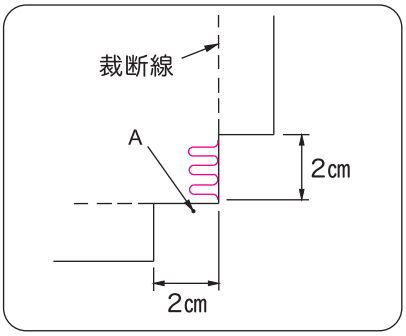
・針と押え金を上げます。

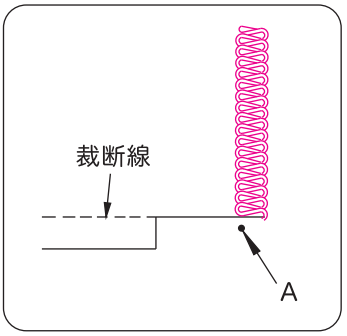
・布を後方に針板のツメから縫い目が離れるまで引いてください。

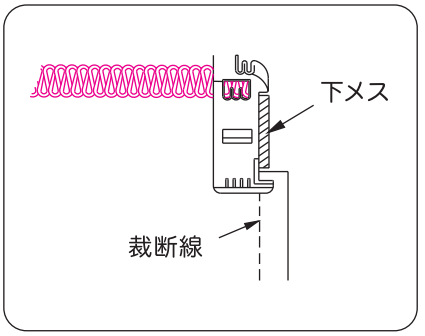
※中央図は押え金を取った状態の詳しい説明図です。

・下メスがちょうど裁断線の上にあるように、布の方向を変えて、押え金を降ろします。

・ゆるんだ糸を引っ張って、縫い始めます。





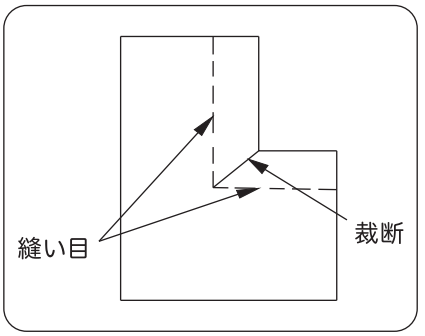


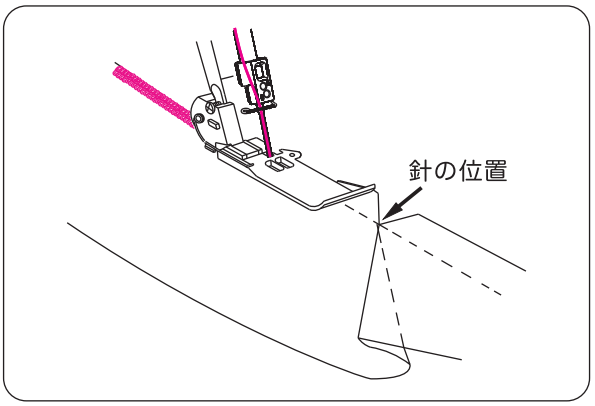
【インサイドコーナーを縫う】

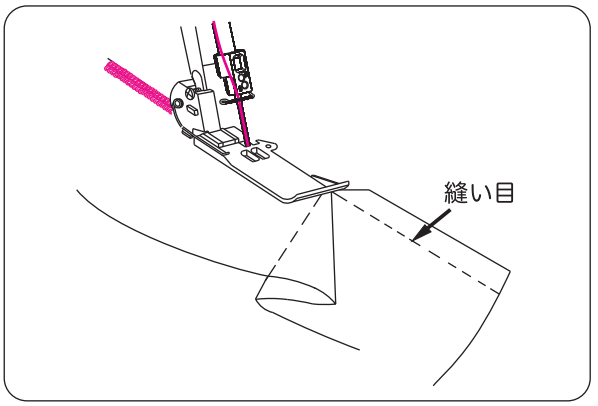
・右図のように、インサイド・コーナーの内側を切ってください。

・縫い目に沿って、縫ってください。

・縫い目が直線になるように、畳んだ布を平らにして、もう一度縫ってください。

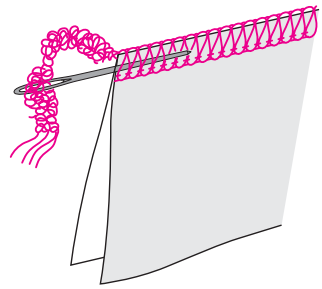




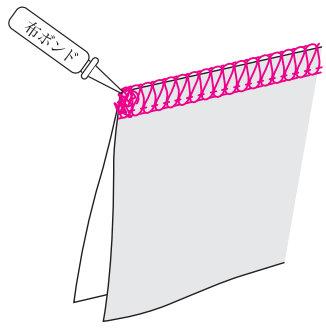


【縫い終わりの糸始末】

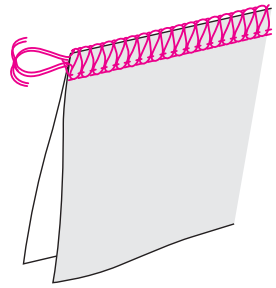
・縫い終わった後、「空環」は右図のような方法等で始末します。



●とじ針で裏の縫い目に通します。



●「空環」を布端で切って布ボンドで固めます。



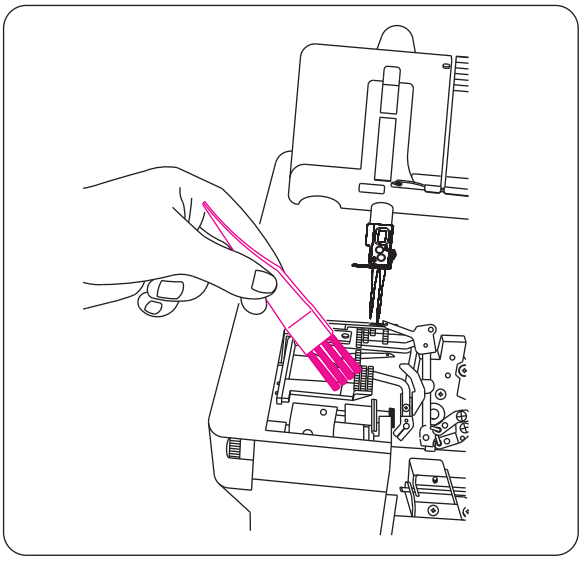
●「空環」の糸をほぐして結びます。

24 ミシンのメンテナンス

ミシンをご使用後は、綿ぼこりがたまりますので定期的に掃除をしてください。

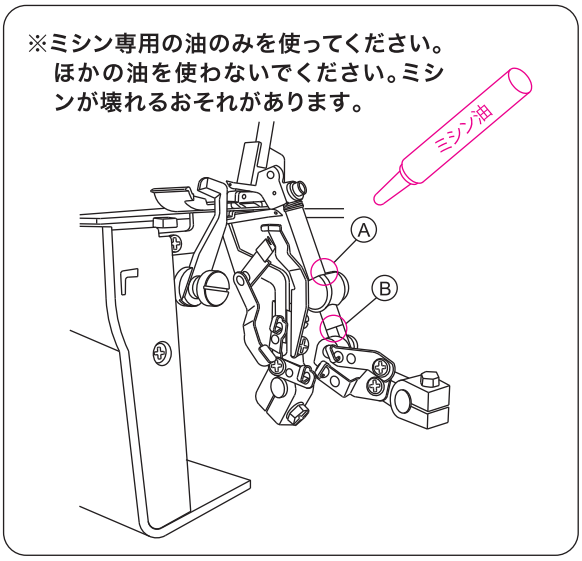
【ミシンの掃除】

・乾いたブラシでルーパーとメスを掃除してください。



【ミシンに油を注ぐ】

・油を注ぐ必要のある部分は下図に示してあります。定期的に油を注いでください。



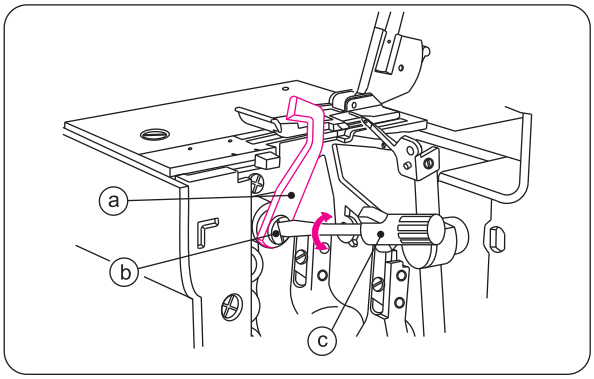
【上メスの取り替え】

・布の切れが悪くなったら、上メスを取り替えます。

・取り替えにくい場合は、代理店にお問い合わせください。

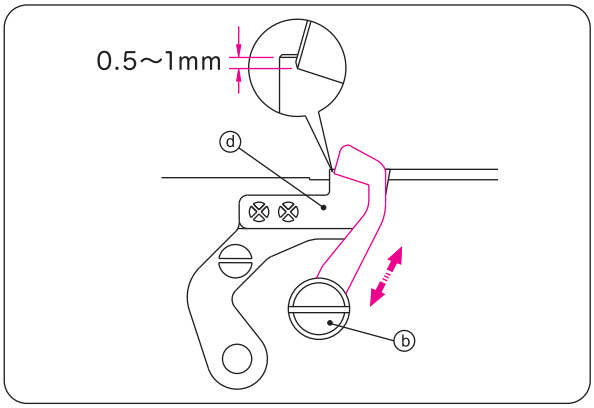
・ルーパーカバーを開けて、はずみ車を回して上メスが一番下にくるようにしてください。

・上メス固定ネジ(b)をゆるめて、上メス(a)を取り外してください。



・新しい上メスを上メスホルダーの溝に取り付けてください。上メスの刃先部分が固定メスの刃先部分(d)より0.5～1.0mm低いところに設置してください。

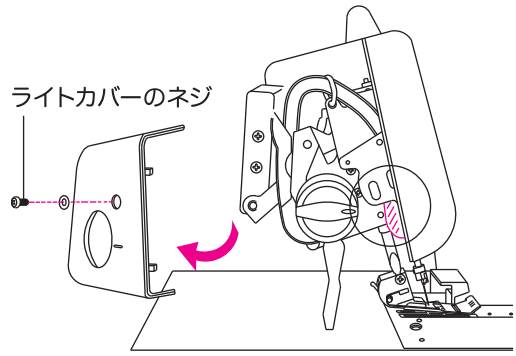
・上メス固定ネジ(b)を締めてください。



【電球を取り替えるには】

・電球は代理店で買えます。古い電球を持って、代理店で同じ電球を買ってください。

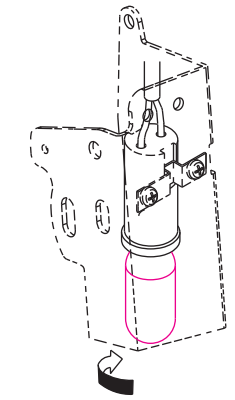
・ライトカバーのネジを取り外して、右図のように、ライトキャップを後ろに軽く押して、左に引き、取りはずしてください。

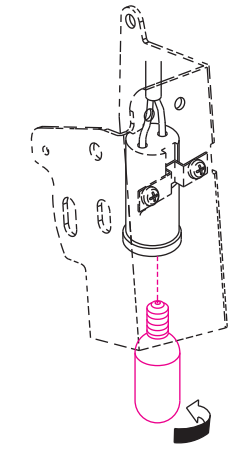


・電球を左に回して取り外し、新しい電球をソケットに入れて、右に回して締めてください。

・ライトカバーを元に戻し、ネジで固定してください。

⚠ 注意：電球を取り替える前に、電球が冷めたことを確認してください。





25 アクセサリー(オプション)

以下の押え金はこのミシン専用のオプションアクセサリーです。

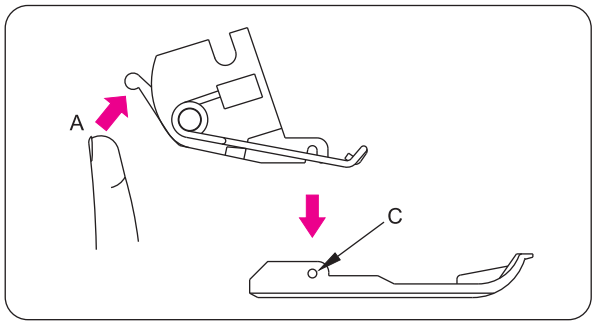
※ほかのミシン専用の押え金を使わないでください。針とメスが折れるおそれがあり、危険です。

【スナップ式の押え金】

●取り外し

・押え金を上げて、針を一番上まで上げてください。

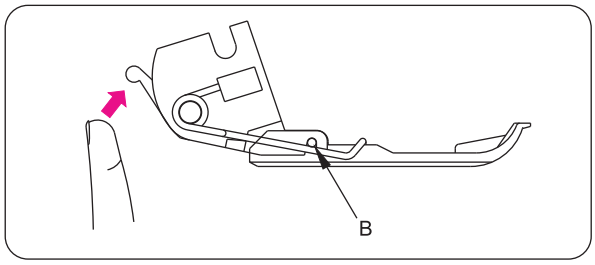
・押え金ホルダーの後ろにある赤いレバー(A)を手前に押して、押え金を取り外してください。



●取り付け

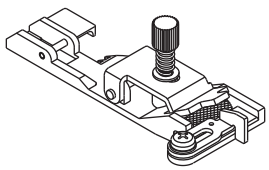
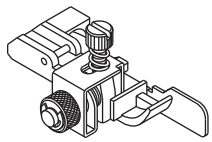
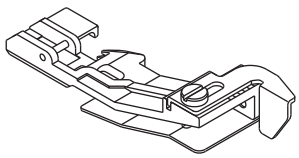
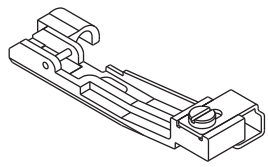
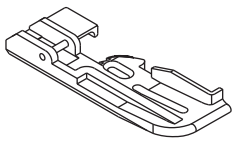
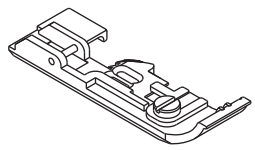
・押え金をホルダーの下に置いて、押え金固定ピン(B)を押えホルダーの固定穴に合わせて、押え金を降ろせば、押え金が付きます。

・押え金を上げて、押え金がちゃんとホルダーに付いていることを確認してください。



【押え金の種類(オプション)】

お求めはお買い上げ販売店にお尋ねください。

ゴム入れ押え ・ウエストなどシャーリングする時、ゴムを一緒に縫うことができます。 	**裾引き押え** ・ニットなどの裾あげをする時に使います。 
シャーリング押え ・二枚の生地を縫い合わせるとき、片方の生地だけにギャザーを寄せて縫い合わせることができます。 	**ビーズ押え** ・ビーズやスパンコールの飾りをつける場合に使います。 
パイピング押え ・パイピングコードが簡単につけられます。 	**テープ押え** ・伸び止めテープ入れに使います。ニットなどの伸びを防ぎます。 

26 修理を依頼される前に

状況	確認内容	参照ページ
布がうまく送れない	送り目を長くする。 厚物の時は押え圧を上げる。 薄物の時は押え圧を下げる。	21 21 21
針が折れる	針を正しく挿入する。 縫っている最中に布を引っ張らない。 針止めネジを締める。 厚物には太い針を使用する。	9 9 9 38
糸が切れる	糸通しを確認する。 糸が引っかかっていないか確認する。 針を正しく挿入する。 新しい針に替える。正しい針を使用する。 新しい糸を使用する。 糸調子をゆるめる。	10〜18 10〜18 9 9 19 25
目とびする	新しい針に替える。正しい針を使用する。 針止めネジを締める。 針を正しく挿入する。 針の太さを替える 糸通しを確認する。 押え圧を上げる。 新しい糸を使用する。	9 9 9 38 10〜18 21 19
不規則な縫い目	糸調子を調整する。 糸がひっかかっていないか確認する。 糸通しを確認する。	25〜27・29 10〜18 10〜18
布が縮む	糸調子をゆるめる。 糸がひっかかっていないか確認する。 新しい糸を使用する。 送り目を短くする。 薄物の時は押え圧を下げる。	25 10〜18 19 21 21
布がうまく切れない	メスが正しく付いているか確認する。 メスを交換する。	8 34
布がつる	縫う前にルーパーカバーを閉める。 糸がひっかかっていないか確認する。	5 10〜18
ミシンが動かない	電源プラグがコンセントに差されていることを確認する。	6

27 布・糸・針一覧表

布の種類	糸の種類	針の番手
薄物 ローン、オーガンジー、 ボイルなど	綿：#100 絹／レーヨン：#100 ポリエステル：#80〜#100	#12
普通地 サテン、ギャバジン、 綿ブロードなど	綿#60〜80 絹／レーヨン：#50 ポリエステル：#60〜#80	#12
厚物 デニム、ツイード、 コーデュロイなど	綿#40〜60 絹／レーヨン：#40〜#60 ポリエステル：#50〜#80	#14
トリコット	ポリエステル：#60〜#80	#12
ジャージ	ポリエステル：#60〜#80 綿：#60〜#80	#12
ウール	ポリエステル：#50〜#60 ウーリーナイロン ウーリーポリエステル	#12、#14

■仕様

かがり幅	普通ロック……3〜7mm 巻きロック……1.5mm
送り目の長さ	1〜4mm
差動比	0.6〜2.0（伸ばし、縮みの比率）
押え上げ量	5mm
使用針	EL×705（#12、#14）
使用糸本数	3〜4本
ミシンの大きさ	幅360×奥行き290×高さ300
重量	7.4kg

※仕様の一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

株式会社ベビーロック

本社／〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 TEL03(3265)2851（代表）

東　京　03(5825)9020　大　阪　06(6768)3651　名古屋　052(917)3671
広　島　082(227)5781　福　岡　0942(44)7921

修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。

お客様へ

お買い上げ日、販売店名を記入されておきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年　月　日
販売店名	
	TEL